

I 論説

第1巻 第1号 (1949年11月)

- | | | | |
|------|----------------------------|-------|-------|
| 1000 | 社会科学の生成
—近代精神史研究の一齣として— | 榊原 巖 | 1~28 |
| 1001 | 計量経済下の自由 | 阿部 源一 | 29~52 |
| 1002 | アッヘンワールの統計学について | 森文三郎 | 53~80 |

第1巻 第2号 (1950年6月)

- | | | | |
|------|-----------------|--------|-------|
| 1003 | 自由経済思想の発生と没落の理論 | 大木金次郎 | 1~21 |
| 1004 | 戦後イギリス労働組合論 (一) | 内田 忠壽 | 22~52 |
| 1005 | 会計主体と会計理論 | 土田 三千雄 | 53~71 |

第2巻 第1号 (1950年12月)

- | | | | |
|------|-----------------|-------|-------|
| 1006 | 経済動学の諸問題 | 久武 雅夫 | 1~20 |
| 1007 | 「国際関係」と大学課程 | 春木 猛 | 21~42 |
| 1008 | 戦後イギリス労働組合論 (二) | 内田 忠壽 | 43~82 |

第2巻 第2号 (1951年7月)

- | | | | |
|------|----------------------|-------|------|
| 1009 | イギリスの国有化計画の理論と実現 (一) | 阿部 源一 | 1~42 |
|------|----------------------|-------|------|

第3巻 第1号 (1951年10月)

- | | | | |
|------|----------------------|-------|---------|
| 1010 | トップ・マネージメントの一考察 | 古川 栄一 | 1~23 |
| 1011 | イギリスの国有化計画の理論と実現 (二) | 阿部 源一 | 24~90 |
| 1012 | 社会政策史上のカーライルとミル | 榊原 巖 | 91~122 |
| 1013 | 農業生産と農民厚生 | 野村 義男 | 123~155 |

第3巻 第2号 (1952年3月)

- | | | | |
|------|-----------------------------------|-------|-------|
| 1014 | エルトン・メーヨーの根本思想
—「人間関係」の理解のために— | 櫻井 信行 | 1~19 |
| 1015 | エウセビオスとの関係より見たるコンスタンチン問題
の若干側面 | 弓 削 達 | 21~71 |

第4巻 第1号 (1952年6月)

- | | | | |
|------|---------------------------------------|-------|-------|
| 1016 | アダム・ミュルラー研究 (一)
—「神学的基礎」に立つ経済学の要請— | 榊原 巖 | 1~44 |
| 1017 | 「社会化」概念の歴史的発展 | 阿部 源一 | 45~74 |

第4巻 第2号 (1952年9月)

- | | | | |
|------|---------------------------------------|-------|---------|
| 1018 | 貸借対照表の本質と財産目録の本質 | 青山 楚一 | 93~109 |
| 1019 | アダム・ミュルラー研究 (二)
—「神学的基礎」に立つ経済学の要請— | 榊原 巖 | 110~156 |

1020 社会化と「成熟」問題
—シュムペーターの成熟論を基軸として— 阿部 源一 157～190

第4巻 第3号 (1952年12月)

1021 補完・代替概念の一考察 伊藤 久秋 191～217
1022 天皇の地位について 小林 孝輔 218～234

第4巻 第4号 (1953年3月)

1023 複会計制度とその運用 土田 三千雄 159～295
1024 二重経済と小農 野村 義男 296～324

第5巻 第1号 (1953年6月)

1025 リスト研究 (一) 榊 原 巖 1～39
—ドイツ統一の幻をはらむ政治的経済学の要請—
1026 生産の二法則と計画費用曲線 伊藤 久秋 40～62

第5巻 第2号 (1953年9月)

1027 期間的損益決定の方法 青山 楚一 75～84
1028 原価管理の基礎的考察 小林 靖雄 85～105
1029 人事管理における雇用問題 櫻井 信行 107～163

第5巻 第3号 (1953年12月)

1030 生産理論に関する覚書 伊藤 久秋 165～191
1031 リスト研究 (二) 榊 原 巖 192～258
—ドイツ統一の幻をはらむ政治的経済学の要請—
1032 参議院の「緊急集会」制度の研究 小林 孝輔 259～282

第5巻 第4号 (1954年3月)

1033 ヒューマン・リレーションズの実証的基礎 櫻井 信行 303～313
1034 アメリカ農業の一側面 野村 義男 314～342
—カリフォルニア収穫労働市場と請負制—

第6巻 第1号 (1954年6月)

1035 ロッシャー研究 榊 原 巖 1～49
—経済の史的現実性の把握に立つ経済学—
1036 ヒックス静学理論の若干点に就いて 伊藤 久秋 51～84

第6巻 第2・3号 青山学院創立80周年記念論文集 (1954年11月)

1037 利子理論に関する覚書 高田 保馬 1～23
—ケインズ利子論批判を中心として—
1038 経済政策論の構造における因果認識と目的論的思惟の
問題 大木 金次郎 25～41
1039 担税者の探究 森 文三郎 43～63

1040	ヒルデブランド研究 —学説ならびに現実批判の立場としての歴史主義的 相対論—	榊原 巖	65~86
1041	証券市場における実物取引と定期取引の本質について —定期取引復活論の理論的根拠—	向井 鹿松	87~124
1042	企業利益の性質とその分析	青山 楚一	125~143
1043	人事管理の本質	櫻井 信行	145~161
1044	低価主義の適用について —特に適用方法の種類と評価損の会計処理を中心と して—	関口 重之	163~185
1045	土壌保全の生産計画 —その傾向と性格—	野村 義男	187~214
1046	正義について	清水 平吉	215~288
1047	国会優越主義の意義	小林 孝輔	289~310
1048	イギリス契約法におけるCONSIDERATIONについて	長谷川 元吉	1~32
1049	価値変動会計と企業本質論について —英米の最近の思潮を中心にして—	土田 三千雄	33~51

第6巻 第4号 (1955年3月)

1050	歴史派経済学の方法論の体系的構成 —カール・クニース—	榊原 巖	1~60
1051	貨幣的景気変動論 —クラーク・ワーバトン研究—	櫻井 欣一郎	61~77
1052	ポピュリズムの一考察 —その経済的理解—	田島 恵児	79~109

第7巻 第1号 (1955年6月)

1053	不完全競争と過剰能力に関する学説	伊藤 久秋	1~41
1054	シュモルラー研究 —ドイツ帝国に浮彫りされた「国民」経済学—	榊原 巖	43~77
1055	労使協力による生産性の向上 —アメリカの場合—	櫻井 信行	79~112
1056	低価主義の系譜	関口 重之	113~132

第7巻 第2号 (1955年9月)

1057	シュモルラー研究 (二) —ドイツ帝国に浮彫りされた「国民」経済学の成立 —	榊原 巖	1~36
1058	ポピュリズムの経済的前提 —農民層分解の視点—	田島 恵児	37~62
1059	「企業権」の解釈的問題 (その一)	福岡 博之	63~114

第7巻 第3号 (1955年12月)

1060	シュモルラー研究 (三) ードイツ帝国に浮彫りされた「国民」経済学ー	榊原 巖	1~64
1061	利益の会計上の概念	青山 楚一	65~76
1062	所得分配の巨視経済的理論 (一) ーブールディグの社会会計的方法ー	日下 藤吾	77~112
1063	物価理論における一つの問題点 ーいわゆる貨幣数量説及び所得税を通して見た「貨幣観」についてー	山田 良治	113~158
1064	憲法改正作用の理論的研究 (一) ーH・エームケの所説を中心としてー	小林 孝輔	159~175

第7巻 第4号 (1956年3月)

1065	科学的社会主義評論	大野 弥曾次	1~26
1066	「企業権」の解釈的問題 (その二)	福岡 博之	27~50
1067	十二世紀後半におけるカペー王権の変質に就いて ーフィリップ・オーギュスト初期のAuctoritas Superlativaをめぐってー (上)	森 洋	51~69
1068	所得分配の巨視経済的理論 (二) ー財政を含む四部門体系における再生産の総過程ー	日下 藤吾	71~107

第8巻 第1号 (1956年3月)

1069	メンガー研究 ードイツ経済学における方法論的自覚を象徴する "Die" Untersuchungenー	榊原 巖	1~45
1070	科学的社会主義評論 (二) ーマルクスの発展理論を中心としてー	大野 弥曾次	47~62
1071	資産の取替と減価償却 ー減価償却引当金の性格ー	土田 三千雄	63~83
1072	ポピュリズムの経済的前提 (続) ー国内市場の視点ー	田島 恵児	85~115
1073	"あきない"及"商"の語源と原義に就いて	坂井 幸三郎	117~181

第8巻 第2号 (1956年9月)

1074	マルクス主義における人間観の二重性 (一)	日下 藤吾	1~34
1075	憲法改正作用の理論的研究 (二) ーH・エームケの所説を中心としてー	小林 孝輔	35~54
1076	低価主義における時価概念	関口 重之	55~76

第8巻 第3号 (1956年12月)

1077	マクス・ウェーバー研究 ー社会科学における理想型概念の方法論の提唱ー	榊原 巖	1~67
------	---------------------------------------	------	------

- 1078 林業史研究 金丸平八 69~112
 -公有林野の整理開発を繞る諸問題についての一般的考察-

第8巻 第4号 (1957年3月)

- 1079 利子論についての覚書 高田保馬 1~19
 1080 貨幣の循環と「貨幣論」のケインズ 山田良治 21~45
 1081 マルクス主義における人間観の二重性 (二) 日下藤吾 47~105
 -バクレーニン=ビゴのマルクス批判を中心として-

第9巻 第1号 (1957年6月)

- 1082 ゾムバルト研究 榊原巖 1~65
 -意味理解的経済学としての近世資本主義論-
 1083 ケインズ経済学研究序説 大野弥曾次 67~94
 -その横顔, 彼への及び彼からの影響, 其の影響の著大なることの原因, 並に彼への諸批判-

第9巻 第2号 (1957年9月)

- 1084 立地理論の現段階 伊藤久秋 1~36
 1085 商標忠実性に就いて 坂井幸三郎 37~70

第9巻 第3号 (1957年12月)

- 1086 経済学における古典と近代 (一) 日下藤吾 1~50
 -資本理論の変遷を通じて-
 1087 ゾムバルト研究 (二) 榊原巖 51~96
 -意味理解的経済学としての近世資本主義論-
 1088 PLEADING論 長谷川元吉 -1~-55
 -イギリス民事訴訟法の争点確定手続-
 1089 A Brief Review of Modern Economic Thought in Japan 櫻井欣一郎 -57~-68

第9巻 第4号 (1958年3月)

- 1090 ドイツ経済学への序説と跋 榊原巖 1~28
 1091 減価償却に関する一考察 守永誠治 29~60
 -貨幣価値の変動を中心として-
 1092 有標化の基本的要件に就いて 坂井幸三郎 61~82
 1093 経済学における古典と近代 (二) 日下藤吾 83~128
 -資本理論の変遷を通じて-
 1094 林業史研究 (続) 金丸平八 129~160
 -大正三年における公有林野造林奨励規則の改正を中心として-

第10巻 第1・2合併号 古坂崑城・長谷川元吉・石橋近三

1095	固定為替レート制について	波多野 堯	1~12
1096	形而上学としてのマルクス経済学	日下 藤 吾	13~25
1097	Full Cost Principleに就いて	伊藤 久 秋	27~40
1098	国有林野経営史序説 —第一次世界大戦の前夜における国有林野の概況—	金丸 平 八	41~62
1099	十九世紀インドのアイ産技術について	松 井 透	63~90
1100	社会主義国家の租税の特異性	森 文 三 郎	91~112
1101	スミス農業論の一側面	野 村 義 男	113~127
1102	A View of Capitalism	大野 弥 曾 次	-1~20
1103	経済政策論の構造における因果認識と目的論的思惟の問題 (二)	大木 金 次 郎	129~146
1104	シュモルラーにおける経済学の世界学化	榭 原 巖	147~160
1105	経済成長と資産貨幣 —ガーリィ・ショー理論について—	櫻井 欣 一 郎	161~174
1106	アメリカ合衆国における福祉国家思想の起源について の一考察 —シドニー・ファインの名著をめぐって—	田 島 恵 児	175~186
1107	戦後における英国金融市場の構造	山 田 良 治	187~212
1108	有価証券の記帳と監査	守 永 誠 治	213~230
1109	有標品市場の不完全性に就いて	坂 井 幸 三 郎	231~246
1110	分権に関する一考察	櫻 井 信 行	247~260
1111	わが税法における二つの評価減	関 口 重 之	261~278
1112	企業実体論と株式配当	土 田 三 千 雄	-21~-34
1113	自己株式取得の実質的意義について	福 岡 博 之	279~298
1114	国家有機体説小論 —J・K・ブルンチュリの理論を中心として—	小 林 孝 輔	299~315
1115	株式の善意取得についての一考察	裏 得 郎	317~327
第10巻 第3号 (1958年12月)			
1116	マーシャル研究 —旧派経済学の近代的改訳への企図—	榭 原 巖	1~30
1117	後進地域の工業化について	西 岡 久 雄	31~42
1118	「近代化」の概念について —その二三の問題—	松 井 透	43~58
第10巻 第4号 (1959年3月)			
1119	MATSUOKA AND THE JAPANESE-AMERICAN NEGOTIATIONS (1941) —A Memorandum—	春 木 猛	-1~31
1120	ON THE SAMPLING THEORY	上 岡 一 嘉	-32~53
1121	経済学における古典と近代 (三・完) —資本理論の変遷を通じて—	日 下 藤 吾	1~24

1122	村落構造と水利との関連を繞つて（一） －甲斐国巨摩郡六科村－	金丸平八	25～43
1123	株式会社法における会社資産拘束の觀念 －とくにフランス法上の配当可能利益確定問題を中 心としての考察－	福岡博之	45～64

第11巻 第1号（1959年6月）

1124	平均費用曲線に就いて －特にワイルズ・アンドルーズの見解に関し－	伊藤久秋	1～17
1125	低所得農場救済に関する若干の問題	野村義男	18～38
1126	マーシャル研究（2）	榊原巖	39～57

第11巻 第2・3合併号 青山学院創立85周年記念論文集（1959年11月）

1127	財政学の基礎概念の再吟味	井藤半彌	1～24
1128	労働の需要供給函数について －ワイントラウヴ教授の所説の検討－	伊藤久秋	25～47
1129	アメリカ経済の修正資本主義的性格	大野弥曾次	48～71
1130	A Note on the Economic Development	Sidney C. Sufrin 櫻井欣一郎	72～91
1131	通貨供給方式と金融機構	山田良治	92～121
1132	実践科学としての経済政策論の方法	波多野堯	122～137
1133	経済地域類型と工業立地政策	西岡久雄	138～153
1134	後進国開発と農地課税 －その資本形成に対する関連－	野村義男	154～171
1135	「農民層の分化」に関する試論 －甲斐国巨摩郡科村－	金丸平八	172～186
1136	H. M. ハインドマンと民主連盟の成立 －社会民主連盟史序説－	気賀健生	187～219
1137	アメリカ西部における土地投機の歴史的意義	田島恵児	220～235
1138	市場調査における一つの試み －単純推定と比推定併用による母集団値、推定の例 －	上岡一嘉	236～241
1139	損益分岐点分析についての一考察	守永誠治 栗山益太郎	242～254
1140	ブランド・マンに就いて	坂井幸三郎	255～279
1141	近代産業における人間の問題 －エルトン・メーヨーを中心として－	櫻井信行	280～301
1142	アメリカ法廷における低価主義	関口重之	302～313
1143	団体とその意思決定の仕方	清水平吉	314～339

第11巻 第4号（1960年3月）

1144	唯物史観の再吟味（1）	日下藤吾	1～23
------	-------------	------	------

1145	人間関係の臨床的研究 －メーヨーのフィラデルフィアにおける最初の研究 を中心に－	櫻井 信行	24～37
1146	「準備」制度と銀行制度 －我国「預金準備制度」への反省のために－	山田 良治	38～65
1147	マーシャル研究（3）	榊原 巖	66～78
1148	団体とその意思決定の仕方（2） －一人間像の社会的構成の側面－	清水 平吉	79～110

第12巻 第1号（1960年6月）

1149	地域構造と立地政策（上） －南九州工業開発問題を事例として－	西岡 久雄	1～25
1150	人間関係の実験的研究 －メーヨーの継電器組立作業実験室の研究を中心に －	櫻井 信行	26～47
1151	わが国における企業資金調達の若干の問題点	山田 良治	48～79
1152	唯物史観の再吟味（2）	日下 藤吾	80～104
1153	マーシャル研究（4）	榊原 巖	105～123

第12巻 第2号（1960年9月）

1154	事務の研究（1）	石田 武雄	1～14
1155	パブリック・サービスからみた交通事業	大森 一二	15～36
1156	ホーソン実験の展開 －メーヨー面接計画の研究を中心に－	櫻井 信行	37～54
1157	Fundamental Theory of Monetary Inequilibrium	柴田 敬	55～82
1158	地域構造と立地政策（中） －南九州工業開発問題を事例として－	西岡 久雄	83～109
1159	マーシャル研究（完）	榊原 巖	110～142

第12巻 第3号（1960年12月）

1160	経営教育におけるケース・メソッドの本質と問題点	櫻井 信行	1～14
1161	On Prof. Kaldor's Theory of Economic Growth	柴田 敬	15～44
1162	唯物史観の再吟味（3）	日下 藤吾	45～74
1163	地域構造と立地政策（下） －南九州工業開発問題を事例として－	西岡 久雄	75～93

第12巻 第4号（1961年3月）

1164	利益平準化に関する一考察	守永 誠治	1～19
1165	経営の問題としての欠勤と労働移動 －メーヨー・グループの研究を中心として－	櫻井 信行	20～43
1166	On the Gold Problem and Prof. Triffin's Proposal	柴田 敬	44～74
1167	唯物史観の再吟味（4）	日下 藤吾	75～102

第13巻 第1号 (1961年6月)

- | | | | |
|------|---|------|--------|
| 1168 | 最近の資金循環分析について | 山田良治 | 1~57 |
| 1169 | ケインズ体系と消費函数
—いわゆる「正常心理法則」をめぐる一つの問題点— | 榎本弘 | 59~74 |
| 1170 | 唯物史観の再吟味 (5) | 日下藤吾 | 75~105 |

第13巻 第2号 (1961年9月)

- | | | | |
|------|---------------------------------------|-------|-------|
| 1171 | 法人税期間配分に関する諸問題 | 栗山益太郎 | 1~20 |
| 1172 | On Prof. Samuelson's <i>Economics</i> | 柴田敬 | 21~47 |
| 1173 | 所得倍增計画の金融的側面における若干の問題点 | 山田良治 | 49~78 |

第13巻 第3号 (1961年12月)

- | | | | |
|------|---|------|--------|
| 1174 | ハッバードの消費函数理論とその問題点 | 榎本弘 | 1~20 |
| 1175 | 経済理論における「土地」の取扱いに就いて | 伊藤久秋 | 21~30 |
| 1176 | 支払資金と損益計算書 | 守永誠治 | 31~62 |
| 1177 | A Theory of Monetary Inequilibrium Re-developed | 柴田敬 | 63~92 |
| 1178 | 唯物史観の再吟味 (6) | 日下藤吾 | 93~124 |

第13巻 第4号 (1962年3月)

- | | | | |
|------|---|------|--------|
| 1179 | Again On Prof. Kaldor's Theory | 柴田敬 | 1~35 |
| 1180 | Interregional Economic Differences Within Japan | 西岡久雄 | 37~57 |
| 1181 | 意図された経済成長のための金融計画 | 山田良治 | 59~96 |
| 1182 | 唯物史観の再吟味 (7) | 日下藤吾 | 97~121 |

第14巻 第1号 (1962年6月)

- | | | | |
|------|---|------|-------|
| 1183 | 交通に対する公共的補助 | 大森一二 | 1~23 |
| 1184 | A Reconsideration of the Economic Location Theory
—A Note on Characteristics of the Location Theory— | 西岡久雄 | 25~42 |
| 1185 | ベーデン・ポーエル研究序説 (上) | 松井透 | 43~74 |

第14巻 第2号 (1962年9月)

- | | | | |
|------|--|------|-------|
| 1186 | The Theory of Monetary Dis-equilibrium Re-stated | 柴田敬 | 1~42 |
| 1187 | 唯物史観の再吟味 (8) | 日下藤吾 | 43~74 |

第14巻 第3号 (1962年12月)

- | | | | |
|------|---------------------|------|-------|
| 1188 | 組織の動態分析 | 石田武雄 | 1~20 |
| 1189 | 資金・損益計算書による財務流動性の測定 | 守永誠治 | 21~32 |
| 1190 | 唯物史観の再吟味 (9) | 日下藤吾 | 33~63 |
| 1191 | ベーデン・ポーエル研究序説 (下) | 松井透 | 65~90 |

第14巻 第4号 森文三郎教授記念号 (1963年2月)

1192	間接税の累進性	井藤半彌	1~14
1193	企業理論の若干の考察	伊藤久秋	15~31
1194	文化景観の変化と調和	藤野靖	33~50

第15巻 第1号 (1963年4月)

1195	業界組織化の原理	石田武雄	1~21
1196	唯物史観の再吟味 (10)	日下藤吾	23~50

第15巻 第2号 (1963年6月)

1197	自由とその社会的条件	清水平吉	1~21
1198	社会的無差別曲線と Egalitarianism	榎本弘	23~35

第15巻 第3号 (1963年11月)

1199	最近の消費函数論における Life Cycle仮説	榎本弘	1~39
1200	唯物史観の再吟味 (11)	日下藤吾	41~72

第15巻 第4号 関口重之教授追悼号 (1964年3月)

1201	学校会計の研究	青山楚一	31~41
1202	企業性格論と会計諸概念の修正	土田三千雄	43~56
1203	On the Gross Income of the Corporation Tax Law of Japan —Relating to that of an Accounting Theory—	栗山益太郎	57~78
1204	クリッピング・インフレーション会計に関する一考察 —正味支払資金を中心として—	守永誠治	79~96

第16巻 第1号 (1964年7月)

1205	管理とシステム概念	石田武雄	1~19
1206	唯物史観の再吟味 (12)	日下藤吾	21~49

第16巻 第2号-1分冊 青山学院創立90周年記念論文集 (1964年11月)

1207	動態社会における競争の考察	伊藤久秋	1~22
1208	経済学の回顧と展望 —キリスト教との関係を中心として—	大野弥曾次	23~35
1209	マルクス経済学の墓標	日下藤吾	37~79
1210	貨幣的不均衡の基礎理論の展開	柴田敬	81~115
1211	経済厚生と嗜好変化 —アスピレーション—厚生関数論の展開—	榎本弘	117~138
1212	地方自治・地方財政・民主主義	井藤半彌	139~153
1213	第二次大戦後における世界貿易政策考察	岩元岬	155~182
1214	財政心理学について (1)	日向寺純雄	183~205
1215	Corpus christianum の拒否 —ハッテライトのキリスト教第三定型的性格—	榊原巖	207~236

1216	8時間労働問題と新組合主義 —I. L. P. 成立の背景—	気賀 健生	237~262
1217	ハミルトンの合衆国銀行プランの変遷	田島 恵児	263~288
1218	産業社会における「経済保障」の位置	富本 繁	289~307
1219	1890年恐慌と資本家団体	三和 良一	309~347

第16巻 第2号-2分冊 青山学院創立90周年記念論文集 (1964年11月)

1220	アメリカにおけるビジネススクールの歴史	櫻井 信行	1~38
1221	経営組織論の発展 —伝統的組織論からシステム論による組織論へ—	石田 武雄	39~68
1222	都市交通事業の性格	大森 一二	69~88
1223	マーケティング論の展開	上岡 一嘉	89~117
1224	固定資産会計の基本問題・研究—序説	青山 楚一	119~126
1225	内部利益と少数株主持分	土田 三千雄	127~143
1226	監査における人的基準の若干の問題	守永 誠治	145~156
1227	税法上の短期所有株式の評価と会計処理	栗山 益太郎	157~173

第16巻 第3号 (1965年2月)

1228	岐路にたつ経済学	日下 藤吾	1~42
1229	Export Industries Look to New Horizons	上岡 一嘉	43~52
1230	一般均衡論と一般的不均衡の必然性	柴田 敬	53~74

第16巻 第4号 櫻井欣一郎教授追悼号 (1965年3月)

1231	信用貨幣本質論と高度成長	山口 茂	29~45
1232	金利の二重構造について	沖中 恒幸	47~53
1233	ハミルトン保護主義の一考察	田島 恵児	55~76
1234	国際流動性問題についての一研究	吉野 昌甫	77~93
1235	金融構造の高度化と貨幣の新しい機能	山田 良治	95~125

第17巻 第1号 (1965年6月)

1236	預金の乗数効果について	沖中 恒幸	1~14
1237	経済成長論の新展開のために	柴田 敬	15~43
1238	Sales Promotion in Japanese Export Marketing	上岡 一嘉	45~62
1239	産業社会における「経済保障」の位置 (承前)	富本 繁	63~91

第17巻 第2号 (1965年9月)

1240	唯物史観の再吟味 (1 3)	日下 藤吾	1~41
1241	What should We Expect from Marketing?	上岡 一嘉	43~48

第17巻 第3号 (1965年12月)

1242	資本回収費と維持費	佐藤 精一	1~14
1243	唯物史観の再吟味 (1 4)	日下 藤吾	15~53
1244	Some Sales Promotion Techniques in Japan	上岡 一嘉	55~66

第17巻 第4号 (1966年3月)

1245	発展途上の経済における成長金融	山田良治	1~20
1246	損害賠償請求権と権利確定主義	栗山益太郎	21~33
1247	唯物史観の再吟味 (15)	日下藤吾	35~75
1248	財政心理学について (2)	日向寺純雄	77~90
1249	技術革新と設備更新	田口玄一	91~108

第18巻 第1号 (1966年6月)

1250	カルドアの経済成長論について	柴田敬	1~11
1251	フッタライト兄弟団一 ついに170, 1965年	榊原巖	12~37
1252	国際決済銀行についての一考察 —国際流動性問題に対する制度的アプローチ—	山田良治 末藤高義	38~65

第18巻 第2号 (1966年10月)

1253	連鎖基準物価指数の再評価	森田優三	1~21
1254	寡占理論における限界原理と平均原理	榎本弘	22~47
1255	アルフォンス・ドーブシュと経済史研究 (1)	石川操	48~75

第18巻 第3号 (1966年12月)

1256	建国初期アメリカの諸銀行の歴史的な性格 (1)	田島恵児	1~15
1257	発展的経済における金融的成長モデルへの1試論	山田良治	16~29
1258	アルフォンス・ドーブシュと経済史研究 (2)	石川操	30~54
1259	唯物史観の再吟味 (16)	日下藤吾	55~97
1260	アナバプティスト派と社会経済	榊原巖	98~148

第18巻 第4号 (1967年3月)

1261	経済成長下の寡占理論と価格決定	榎本弘	1~16
1262	アナバプティスト派と政治	榊原巖	17~35
1263	唯物史観の再吟味 (17)	日下藤吾	36~72

第19巻 第1号 (1967年6月)

1264	ドイツ近代歴史学と史料批判 —「モヌメンタ・ゲルマニアイ・ヒストリカ」における『サリー法典』の公刊計画をめぐる問題—	石川操	1~23
1265	唯物史観の再吟味 (18)	日下藤吾	24~62

第19巻 第2号 (1967年10月)

1266	Overhead Costs 研究覚書	伊藤久秋	1~12
1267	貯蓄・投資の制度化 —金融的成長の一局面—	山田良治	13~30
1268	Japan and the General Agreement on Tariffs and Trade, 1952-63 (1)	James E. Lande	31~65

1269 『サリー法典』の歴史的性格をめぐる問題（1） 石川 操 66～92

第19巻 第3号（1967年12月）

1270 地方財政均衡の原理と方策 井藤 半彌 1～34
—ブキャナン説の批判—

1271 唯物史観の再吟味（19） 日下 藤吾 35～82

1272 Japan and the General Agreement on Tariffs and Trade, 1952-63（2） James E. Lande 83～114

第19巻 第4号（1968年3月）

1273 近年の貯蓄性向の動き 沖中 恒幸 1～18
—特に所得階層別貯蓄弾力性—

1274 唯物史観の再吟味（20） 日下 藤吾 19～71

第20巻 第1号（1968年6月）

1275 共産主義の神話と現実（1） 日下 藤吾 1～23

1276 『サリー法典』の歴史的性格をめぐる問題（2） 石川 操 24～47

第20巻 第2号（1968年10月）

1277 金融における競争原理の導入 沖中 恒幸 1～20

1278 わが国の政策的低金利の背景 天利 長三 21～48

1279 共産主義の神話と現実（2） 日下 藤吾 49～73

第20巻 第3号（1968年12月）

1280 地方税の原則と体系 井藤 半彌 1～24

1281 『アメリカン・ミュージアム誌』とアメリカ保護主義思想 田島 恵児 25～41
—ウィリアム・バートンを中心にして—

1282 共産主義の神話と現実（3） 日下 藤吾 42～66

第20巻 第4号（1969年3月）

1283 わが国の県別工業多角化係数（1） 西岡 久雄 1～13
阿蘇 道子

1284 “管理価格”と公共政策（1） 原 豊 14～31

1285 共産主義の神話と現実（4） 日下 藤吾 32～59

第21巻 第1号（1969年6月）

1286 A Theory of General Disequilibrium（1） 柴田 敬 1～26

1287 わが国の県別工業多角化係数（2） 西岡 久雄 27～40
阿蘇 道子

1288 共産主義の神話と現実（5） 日下 藤吾 41～64

1289 新古典派モデルによる負債の成長理論 山田 良治 65～92

第21巻 第2号（1969年10月）

1290	地方団体, 地方財政の特性	井藤 半彌	1~35
1291	ガルブレイスの新産業国家論の若干点について	伊藤 久秋	36~56
1292	A Theory of General Disequilibrium (2)	柴田 敬	57~75
1293	わが国の県別工業多角化係数 (3)	西岡 久雄 阿蘇 道子	76~85
1294	共産主義の神話と現実 (6)	日下 藤吾	86~114
第21巻 第3号 (1969年12月)			
1295	フィリピンとアメリカ合衆国の貿易・通商関係 (1) — 特恵関税制度に関する一考察 —	ランデス・ハル	1~23
1296	共産主義の神話と現実 (7)	日下 藤吾	24~49
第21巻 第4号 (1970年3月)			
1297	戦前における日本の軍事資本	石渡 茂	1~18
1298	職業別男子就業者の年齢構造分析 (1)	大谷 登士雄	19~53
1299	共産主義の神話と現実 (8)	日下 藤吾	54~82
第22巻 第1号 (1970年6月)			
1300	R & D, 技術進歩と企業成長	石渡 茂	1~37
1301	共産主義の神話と現実 (9)	日下 藤吾	38~65
第22巻 第2号 (1970年10月)			
1302	地方財政調整の一般原則	井藤 半彌	1~22
1303	エネルギーと経済 — 公害と壊壊法則 —	柴田 敬	23~58
1304	判別理論の諸問題	鈴木 栄一	59~71
1305	職業別男子就業者の年齢構造分析 (2)	大谷 登士雄	72~97
1306	共産主義の神話と現実 (10)	日下 藤吾	98~125
第22巻 第3号 (1970年12月)			
1307	Notes on Inflation and Deflation	Martin Bronfenbrenner	1~18
1308	一般均衡論と私の経済学行脚 (上)	柴田 敬	19~63
1309	職業別男子就業者の年齢構造分析 (3)	大谷 登士雄	64~96
1310	共産主義の神話と現実 (11)	日下 藤吾	97~128
第22巻 第4号 (1971年3月)			
1311	一般均衡論と私の経済学行脚 (中)	柴田 敬	1~33
1312	フィリピンとアメリカ合衆国の貿易・通商関係 (2) — 特恵関税制度に関する一考察 —	ランデス・ハル	34~68
第23巻 第1号 (1971年6月)			
1313	古典的立地論の図解と適用	西岡 久雄	1~43
1314	明治金融史の一節	吉川 光治	44~67
1315	“管理価格” と公共政策 (2)	原 豊	68~85

1316 一般均衡論と私の経済学行脚（下） 柴田敬 86～132

第23巻 第2号（1971年10月）

1317 社会システムの予測（1） 福原文雄 1～14
1318 アダム・スミス『道徳感情論』の研究（1） 石井信之 15～35
1319 REEP-Equation and Minimum-Risk Prediction 鈴木栄一 36～63
1320 共産主義の神話と現実（1 2） 日下藤吾 64～90

第23巻 第3号（1971年12月）

1321 法律史料より見た初期フランク王国貴族 石川操 1～29
1322 貨幣的不均衡論の動学化 太田浩 30～52
1323 範囲（Range）の確率積分に関する統計数値表（1） 鈴木栄一 53～75
森平爽一郎
宮田雅智
田原正弘
1324 アダム・スミス『道徳感情論』の研究（2） 石井信之 76～94

第23巻 第4号（1972年3月）

1325 鉄鋼業における技術進歩と企業成長 石渡茂 1～31
1326 因子分析法とその経済地理学への応用 鈴木栄一 32～60
奥野隆史
1327 社会システムの予測（2） 福原文雄 61～75
1328 共産主義の神話と現実（1 3） 日下藤吾 76～106

第24巻 第1号（1972年6月）

1329 確率予測に関する方法論的一考察 鈴木栄一 1～42
1330 ハミルトンとコックス 田島恵児 43～76
ーいわゆるハミルトン保護主義の形成過程を中心に
してー
1331 グラフ及びネットワークの理論と応用（1） 高森寛 77～95

第24巻 第2号（1972年10月）

1332 タイ農業の多様化と発展 ランデス・ハル 1～15
1333 資源配分とシステム隘路の構造 高森寛 16～40
ーグラフ及びネットワークの理論と応用（2）ー
1334 社会システムの予測（3） 福原文雄 41～53
1335 共産主義の神話と現実（1 4） 日下藤吾 54～80

第24巻 第3号（1972年12月）

1336 トゥールの司教グレゴールの『フランク史』について 石川操 1～18
1337 定量的地域区分法とその適用 奥野隆史 19～43
ー等質地域概念にもとづく名古屋地域の区分例ー 鈴木栄一

第24巻 第4号（1973年3月）

1338	Demand Curves, Price Discrimination and Plant Location	Melvin L. Greenhut	1~11
		太田 浩	
1339	初期メロヴィング時代における貴族所領	石川 操	12~36
1340	鉄鋼業における生産関数と要素代替	石渡 茂	37~52
1341	The Dollar Problem, an Analysis and Tentative Proposal	James E. Lande	53~76
1342	社会システムの予測 (4)	福原文雄	77~91

第25巻 第1号 (1973年6月)

1343	Comparative Development Planning and Strategy	Martin Bronfenbrenne	1~15
1344	生産・在庫計画とその分権化のモデル	高森 寛	16~28
1345	共産主義の神話と現実 (15)	日下 藤吾	29~65

第25巻 第2号 (1973年10月)

1346	初期フランク王国における貴族と王権 —グンドワルドの王位篡奪事件をめぐって—	石川 操	1~30
1347	共産主義の神話と現実 (16)	日下 藤吾	31~67

第25巻 第3号 (1973年12月)

1348	アメリカ合衆国におけるラディカル経済学	Martin Bronfenbrenne	1~17
1349	フランク王国成立期における貴族について	石川 操	18~41
1350	The Dollar Problem, and the DADI Flows	James E. Lande	42~65
1351	環境の計測と分析の方法論 (I)	鈴木 栄一	66~80
1352	三貨制度に関する一考察 (その一)	吉川 光治	81~101

第25巻 第4号 (1974年3月)

1353	土地改良事業における換地処分のための土地評価	福原文雄	1~25
1354	経済学と経営学の関連 (I) —人間行動の理解を中心として—	坂井 正廣	26~40
1355	The Philippine Economy at a Turning Point: Commercial Relations with the United States	ランデス・ハル	41~57
1356	Toward Raising Higher-Education's Contribution to Japanese Economic Progress (or If I Were the Mombu-Daijin)	Martin Bronfenbrenne	58~66
1357	On Professor Bronfenbrenner's "If I were the Monbu Daijin"	山根 太郎	67~70
1358	Reply to Professor Yamane	Martin Bronfenbrenne	70~73
1359	Comments on Professor Bronfenbrenner's reply	山根 太郎	74~75
1360	Rev. Andrew Burnaby, A.M. Travels through the Middle Settlements in North-America. —In the years 1759 and 1760. With observations upon the state of the colonies. — (3)	金丸 平八 三浦 眞理	76~95

第26巻 第1・2・3合併号 青山学院創立100周年記念論文集 (1974年11月)

1361	経済学よ何処へ行く	日下藤吾	1~46
1362	開発経済学の挑戦	喜多村浩	47~71
1363	空間的寡占下の差別価格論	太田浩	73~91
1364	戦後期日本製造業の生産性成長	石渡茂	93~115
1365	ソ連経済の成長過程 —1959~1973年—	吉田靖彦	117~143
1366	初期フランク王国貴族に関する考古学的所見	石川操	145~172
1367	金解禁政策決定過程における利害意識	三和良一	173~200
1368	ハミルトンと公信用	田島恵児	201~221
1369	享保の幣制改革に関する一考察	吉川光治	223~250
1370	仮定の空間	福原文雄	251~262
1371	正規範囲のモメントについて —範囲 (Range) の確率積分に関する統計数値表 (2) —	鈴木栄一 森平爽一郎 宮田雅智 田原正弘	263~289
1372	A Macroeconometric Model of the Japanese Economy	山根太郎	291~325

第26巻 第4号 (1975年3月)

1373	A Model of the Consumption Sector of the Japanese Economy	山根太郎	1~33
1374	三貨制度に関する一考察 (その三)	吉川光治	35~52

第27巻 第1号 (1975年6月)

1375	実験計画モデルと指標関数	福原文雄	1~20
1376	A Model of the Investment Sector of the Japanese Economy	山根太郎	21~45

第27巻 第2号 (1975年10月)

1377	唯物弁証法とは何なのか —マルクス主義者の阿片か—	日下藤吾	1~36
1378	Grimo 遺言状とその所領について	石川操	37~58

第27巻 第3号 (1975年12月)

1379	土地改良事業における工事賦課金と換地清算金	福原文雄	1~20
1380	唯物弁証法とは何なのか (2) —マルクス主義者の阿片か—	日下藤吾	21~69
1381	環境の計測と分析の方法論 (II)	鈴木栄一	71~84
1382	続 ハミルトンとコックス	田島恵児	85~104

第27巻 第4号 (1976年3月)

1383	マルクス主義とは一体何なのか —それがいま問われている—	日下藤吾	1~70
------	---------------------------------	------	------

1384 経済学史研究の方法的問題 (1)
—代表的通史文献による検討— 石井 信之 71~99

第28巻 第1号 (1976年6月)

1385 「プロレタリア独裁」とは一体何なのか (1)
—マルクス主義の封筒におさめられた無神論的福音書— 日下 藤吾 1~56

1386 Linear and Nonlinear Estimation Problems of the
Production Function 山根 太郎 57~72
森崎 初男

第28巻 第2号 (1976年10月)

1387 「プロレタリア独裁」とは一体何なのか (2)
—あまり科学的ではなさそうな『科学的社会主義』— 日下 藤吾 1~62

1388 環境の計測と分析の方法論 (Ⅲ) 鈴木 栄一 63~99
大橋 明德

第28巻 第3号 (1976年12月)

1389 経済学の原点とは何なのか
—左も右も自閉症?— 日下 藤吾 1~64

1390 経済学史研究の方法的問題 (Ⅱ)
—代表的通史文献による検討 (補論) — 石井 信之 65~83

1391 環境の計測と分析の方法論 (Ⅳ) 鈴木 栄一 84~102

1392 Estimation of Embodied and Disembodied Technical
Progress (Ⅱ) 山根 太郎 103~109
森崎 初男

第28巻 第4号 (1977年3月)

1393 いわゆる『科学的社会主義』の正体は何か
—ほんものの科学かエセ科学か— 日下 藤吾 1~61

1394 徳川時代の米価ならびに米穀流通機構に関する一考察
(その一) 吉川 光治 62~78
—三貨制度との関連において—

第29巻 第1号 (1977年6月)

1395 ケインズ体系の再吟味
—とくに乗数理論・総供給関数・不確実性を中心に— 榎本 弘 1~38
平井 俊顕

1396 経済政策の比較史的研究の方法について 田島 恵児 39~59
三和 良一

1397 徳川時代の米価ならびに米穀流通機構に関する一考察
(その二) 吉川 光治 60~72
—三貨制度との関連において—

1398 Estimation and Control of Dynamical Economic
System 鈴木 栄一 73~89
川畑 興求

1399 On "Social and Cultural Factors in Japanese Economic Growth." 山根 太郎 90~108

第29巻 第2号 (1977年10月)

- 1400 経済システムとシステムモデル 福原文雄 1~15
1401 空間的差別価格論の再吟味 太田 浩 16~33
1402 環境の計測と分析の方法論 (V)
—パターンの表現法と推測— 鈴木 栄一 34~55
1403 徳川時代の米価ならびに米穀流通機構に関する一考察
(その三) 吉川 光治 56~73
—三貨制度との関連において—
1404 Divestment of US Equity and Land Holdings in the
Philippines, 1970-76 (I) ランデス・ハル 74~104
James E. Landes
1405 The Import Function of Aoyama Model II 山根 太郎 105~122
青木 俊介

第29巻 第3号 日下藤吾教授退任・名誉教授記念特集 (1977年12月)

- 1406 国際金融社会のなかの日本 天利 長三 60~75
—新しい進路をもとめて—
1407 経済学史研究の方法的問題 (III) 石井 信之 76~87
—学派, 学者についての史的展望 (そのI) —
1408 評価と数量化の方法論に関する一考察 鈴木 栄一 88~99
1409 ソ連農業の趨勢 吉田 靖彦 100~126
1410 徳川時代の米価ならびに米穀流通機構に関する一考察
(その四) 吉川 光治 127~144
—三貨制度との関連において—
1411 Substitution Method and Supplement Method for
the Statistical Estimation under Restrictions
in a Stochastic Model 福原文雄 145~156
1412 Short-run Cycles and Long Swings in Australian
Residential Capital Formation, 1861-1939 石 渡 茂 157~182
1413 Divestment of US Equity and Land Holdings in the
Philippines, 1970-76 (II) ランデス・ハル 183~210
James E. Landes
1414 A Macroeconometric Model of the Japanese Economy
(II) 山根 太郎 211~249

第29巻 第4号 (1978年3月)

- 1415 青山モデルIIの輸出セクター 山根 太郎 1~18
青木 俊介
仙波 憲一
1416 徳川時代の米価ならびに米穀流通機構に関する一考察
(その五) 吉川 光治 19~37
—三貨制度との関連において—

1417	Divestment of US Equity and Land Holdings in the Philippines, 1970-76 (III)	ランダス・ハル James E. Landes	38~72
------	---	----------------------------	-------

第30巻 第1号 (1978年6月)

1418	多重方程式モデル	福原文雄	1~19
1419	戦後日本製造業の成長の源泉：ソース・アプローチによる分析	石渡茂	20~40
1420	北アメリカ銀行に関する一考察 — 国民国家の確立の見地を中心として —	田島恵児 松本幸男	41~61
1421	産業における公害防除の費用とその価格波及の分析	高森寛 笹川義智	62~111
1422	徳川時代の米価ならびに米穀流通機構に関する一考察 (その六) — 三貨制度との関連において —	吉川光治	112~130
1423	Divestment of US Equity and Land Holdings in the Philippines, 1970-76 (IV)	ランダス・ハル James E. Landes	131~162
1424	A Macroeconometric Model of the Japanese Economy (III)	山根太郎	163~177

第30巻 第2・3・4号 青山学院大学経済学部創立30周年記念論文集 (1979年2月)

1425	両大戦期間の教訓を顧みて	天利長三	1~53
1426	無差別曲線の形状に関する覚書	榎本弘	55~66
1427	制限情報最尤法 — Anderson-Rubin の最尤法と Koopmans-Hood の最尤法 —	福原文雄	67~85
1428	西ドイツの企業結合と合併規制	原豊 外崎忠	87~110
1429	公債方式と個人的選好 — 特に財政上の基本ルールに関連して —	日向寺純雄	111~126
1430	オーストラリアの住宅資本形成と資本ストック, 1860-1939年	石渡茂	127~167
1431	「成長」から「分配」へ — 開発目標の転換 —	ランダス・ハル	169~183
1432	空間的差別価格政策の厚生効果	太田浩	185~208
1433	カルマン・フィルター理論とその経済への応用	鈴木栄一	209~219
1434	いわゆる the “S. U. M.” に関する一考察	田島恵児	221~251
1435	Economic Forecast of 1978 with Aoyama Model IV	山根太郎	253~273
1436	ソ連農業における個人的副業経営	吉田靖彦	275~298
1437	徳川時代の米価と幣制	吉川光治	299~321

第31巻 第1号 (1979年6月)

1438	地理行列に関する多変量解析の方法論的諸問題 (1)	鈴木栄一	1~20
------	---------------------------	------	------

1439	徳川封建体制における国家信用と商人信用 (その一) —徳川後期盛岡藩の場合を中心として—	吉川 光治	21~34
1440	Industrial Location and Policy in Japan 1945-1970 (I)	西岡 久雄 Kenji K. Oshiro	35~52

第31巻 第2号 (1979年10月)

1441	17・8世紀の自由貿易論	中澤 進一	1~33
1442	徳川封建体制における国家信用と商人信用 (その二) —徳川後期盛岡藩の場合を中心として—	吉川 光治	34~54

第31巻 第3号 山根太郎教授追悼記念号 (1979年12月)

1443	OPEC, NOPEC, and World Demand	Martin Bronfenbrenner	21~26
1444	ジェームズ・M・ブキャナンのケインズ経済学に対する政治経済学的批判	深澤 實	27~48
1445	単一方程式モデルにおける観測不能な誤差項と統計推論	福原文雄	49~71
1446	経済学史通史研究の方法的問題	石井 信之	73~100
1447	イギリスの新しい地方行政地域区分	西岡 久雄	101~132
1448	消費者行動の実証分析	太田 浩 岡村 稔	133~166
1449	環境・資源の遠隔探査における統計的処理	鈴木 栄一	167~182

第31巻 第4号 天利長三名誉教授記念特集号 (1980年3月)

1450	新重商主義	中澤 進一	49~95
1451	極値推測論と予測手法の諸問題	鈴木 栄一	97~110
1452	徳川封建体制における国家信用と商人信用 (その三) —徳川後期盛岡藩の場合を中心として—	吉川 光治	111~131
1453	Industrial Location and Policy in Japan 1945-1970 (II)	西岡 久雄 Kenji K. Oshiro	133~146

第32巻 第1号 (1980年6月)

1454	連立方程式モデルの付加方式による最尤推定	福原文雄	1~29
1455	徳川封建体制における国家信用と商人信用 (その四) —徳川後期盛岡藩の場合を中心として—	吉川 光治	30~48

第32巻 第2-3号 (1980年12月)

1456	Conditional Demand Function と関連財に関する一考察	榎本 弘 仙波 憲一	1~14
1457	中古自動車の標準価格モデル	福原文雄	15~40
1458	デ・ヴィティ財政学に関する一考察	日向寺 純雄	41~62
1459	石油ショックと各産業の価格反応	大住 栄治 高 森 寛	63~107

1460	極値推測論と予測手法の諸問題 (II)	鈴木 栄一	108~125
		宮田 雅智	
		本郷 茂	

第32巻 第4号 (1981年3月)

1461	デ・ヴィティ公債理論の研究	日向寺 純雄	1~18
1462	為替需給論の一考察—F. Machlup の理論	中澤 進一	19~37
1463	最近における国際的な統計学界の動向 (I)	鈴木 栄一	38~47

第33巻 第1号 (1981年6月)

1464	最近における国際的な統計学界の動向 (II)	鈴木 栄一	1~16
1465	ハミルトン金融政策の史的分析 —第1合衆国銀行の創設を中心として— (一)	田島 恵児	17~44

第33巻 第2号 (1981年10月)

1466	横断面データの時系列の活用 —中古車の標準価格モデル—	福原文 雄	1~21
1467	個別誘因両立性をもつ公共財最適供給メカニズムの設計	平澤 典男	22~47
1468	ハミルトン金融政策の史的分析 —第1合衆国銀行の創設を中心として— (二)	田島 恵児	48~108

第33巻 第3号 (1981年12月)

1469	新しい換地選定の方法	福原文 雄	1~22
		高梨 公孝	
1470	MDP メカニズムの戦略的操作性	平澤 典男	23~42
1471	最近における国際的な統計学界の動向 (まとめ)	鈴木 栄一	43~66
1472	ソ連経済の現状と展望 —第10次, 第11次5カ年計画に関連して—	吉田 靖彦	67~95
1473	徳川封建体制における国家信用と商人信用 —三善庸礼の所説を中心として— (その一)	吉川 光治	96~115

第33巻 第4号 (1982年3月)

1474	Irmina von Oeren について —フランク人貴族に関する一考察—	石川 操	1~27
1475	回帰的統計モデルにおける変数選択論 (I)	鈴木 栄一	28~45
1476	日本銀行信用の調節と金融政策	高橋 俊治	46~63
1477	徳川封建体制における国家信用と商人信用 —三善庸礼の所説を中心として— (その二)	吉川 光治	64~77

第34巻 第1号 (1982年6月)

1478	土地集団化論 —個別集団化と集積地の再集団化—	福原文 雄	1~19
1479	John Fullarton の「兌換」の含意	中澤 進一	20~40

1480	徳川封建体制における国家信用と商人信用 －三善庸礼の所説を中心として－（その三）	吉川 光 治	41～59
------	---	--------	-------

第34巻 第2号（1982年10月）

1481	極値推測論と予測手法の諸問題（まとめ） －応用例を中心とする考察－	鈴木 栄 一	1～29
1482	ソ連経済の成長と経済体制 －資本係数に関連して－（その一）	吉田 靖 彦	30～62
1483	徳川封建体制における国家信用と商人信用 －三善庸礼の所説を中心として－（その四）	吉川 光 治	63～81

第34巻 第3号（1982年12月）

1484	パレート社会学とイタリア財政社会学	日向寺 純雄	1～23
1485	経済思想史と経済学説史 －通史方法論の検討－	石井 信 之	24～49
1486	自己双対需要関数（上） －理論と実証分析－	松下 正 弘	50～81
1487	回帰的統計モデルにおける変数選択論（Ⅱ） －稀現象や異常現象の予測モデル－	鈴木 栄 一	82～99

第34巻 第4号（1983年3月）

1488	非模索型リンダール・メカニズム（Ⅰ）	平澤 典 男	1～22
1489	イタリア財政社会学の方法論	日向寺 純雄	23～42
1490	自己双対需要関数（下） －理論と実証分析－	松下 正 弘	43～71
1491	回帰的統計モデルにおける変数選択論（Ⅲ）	鈴木 栄 一	72～94
1492	ソ連経済の成長と経済体制 －資本係数に関連して（その二）－	吉田 靖 彦	95～121
1493	On Malthusian Macroeconomics	Martin Bronfenbrenne	122～133

第35巻 第1号（1983年6月）

1494	財政錯覚とその現代的意義	日向寺 純雄	1～18
1495	通貨発行利益の決定と配分の機構	高橋 俊 治	19～39

第35巻 第2号（1983年10月）

1496	デ・ヴィティ租税論の研究	日向寺 純雄	1～29
1497	不均衡経済における財政政策の効果 －単純化モデルによる考察－	中込 正 樹	30～57
1498	予測の決定論的モデルと確率的モデル	鈴木 栄 一	58～76
1499	東欧諸国経済の現状と展望	吉田 靖 彦	77～104

第35巻 第3号（1983年12月）

1500	ユーロダラー機能についての一考察 —信用創造論争を中心に—	原 豊 棟近 みどり	1~33
1501	所得税と貯蓄への二重課税 —とくにイタリア財政理論に関連して—	日向寺 純雄	34~52
1502	内部労働市場のゲーム分析	中込 正樹	53~65
1503	先端技術工業の立地	西岡 久雄	66~88
1504	国民医療費の増大と公的医療保障制度に関する見方	牛丸 聡	89~124
1505	徳川封建経済における手形流通に関する一考察 (その 一)	吉川 光治	125~144

第35巻 第4号 (1984年3月)

1506	現代の統計学国際会議の動向と話題	鈴木 栄一	1~18
1507	非模索型リンダール・メカニズム (II)	平澤 典男	19~35
1508	徳川封建経済における手形流通に関する一考察 (その 二)	吉川 光治	36~59

第36巻 第1号 (1984年3月)

1509	価格構造からみた中古車の情報経済財的特性	福原文雄	1~30
1510	国家類型論 —イタリア財政理論の伝統—	日向寺 純雄	31~48
1511	不均衡理論の学説史的系譜	中込 正樹	49~72
1512	IC 生産とマージン・ライン —1つの試論—	西岡 久雄	73~96
1513	離散型分布の一般化と最近の確率母関数理論	鈴木 栄一	97~114
1514	ソ連経済における集約的成長と労働生産性向上	吉田 靖彦	115~146
1515	徳川封建経済における手形流通に関する一考察 (その 三)	吉川 光治	147~161

第36巻 第2・3・4号 青山学院創立110周年記念論文集 (1985年2月)

1516	市場形態と均衡形成	榎本 弘	1~33
1517	無羨望公平性の概念について	平澤 典男	35~63
1518	イタリアにおける財政学発展の下地	日向寺 純雄	65~78
1519	戦前期日本海運政策史の一考察	三和 良一	79~134
1520	合理的期待と sluggish prices	中込 正樹	135~146
1521	比較生産費説の一考察	中澤 進一	147~165
1522	環境予測の方法論に関する一考察	鈴木 栄一	167~186
1523	公的年金制度の経済効果	牛丸 聡	187~233
1524	貿易秩序と国際航空秩序	米澤 義衛	235~261
1525	ソ連の最近の経済改革と生産効率	吉田 靖彦	263~294
1526	High Technology Industry: Location, Regional Development and International Trade Frictions	西岡 久雄	295~341
1527	An Alternative Explanation of the Behavior of the Money Stock	高橋 俊治	343~359

第37巻 第1号 (1985年6月)

- | | | | |
|------|-----------------------------------|------|-------|
| 1528 | 中古貨物車市場の地域特性
—probit モデルによる分析— | 福原文雄 | 1~19 |
| 1529 | 公的年金制度の枠組み | 牛丸聡 | 20~43 |
| 1530 | 徳川封建経済における手形流通に関する一考察 (その四) | 吉川光治 | 44~60 |

第37巻 第2号 (1985年10月)

- | | | | |
|------|---|--------------|---------|
| 1531 | 日本の先端技術工業の立地動向と地域的展開 | 西岡久雄
竹内淳彦 | 1~36 |
| 1532 | 非定常時系列の諸問題 | 鈴木栄一 | 37~58 |
| 1533 | 公的年金の所得再分配効果 | 牛丸聡 | 59~86 |
| 1534 | 徳川封建経済における手形流通に関する一考察 (その五) | 吉川光治 | 87~104 |
| 1535 | Regional Rational Expectations and Local Property Tax | 中込正樹 | 105~111 |

第37巻 第3号 (1985年12月)

- | | | | |
|------|--|------|-------|
| 1536 | 医療保障政策の枠組み | 牛丸聡 | 1~37 |
| 1537 | 徳川封建経済における手形流通に関する一考察 (その六) | 吉川光治 | 38~52 |
| 1538 | Empirical Evaluation of Self-Dual Demand Functions | 松下正弘 | 53~93 |

第37巻 第4号 (1986年3月)

- | | | | |
|------|--|--------------|-------|
| 1539 | Probit モデルと Logit モデル
—実証例：大型平荷台市場の地域特性分析— | 福原文雄 | 1~22 |
| 1540 | 比較生産費説から相互需要説へ
—J. Viner を手がかりとして— | 中澤進一 | 23~40 |
| 1541 | 米国の航空規制緩和下における航空サービスの大都市へのシフト | 西岡久雄
宮城真宏 | 41~68 |
| 1542 | Regional Rational Expectations and the Effectiveness of Local Government Expenditure | 中込正樹 | 69~78 |

第38巻 第1号 (1986年6月)

- | | | | |
|------|--------------------|---------------------|-------|
| 1543 | 災害の評価予測に対する数理科学的接近 | 鈴木栄一
宮田雅智
本郷茂 | 1~16 |
| 1544 | 積立方式と賦課方式 | 牛丸聡 | 17~39 |

第38巻 第2号 (1986年10月)

- | | | | |
|------|--------------------------------------|------|------|
| 1545 | 景気変動予測モデル
—実証研究例：第9循環および第9循環半ば以降— | 福原文雄 | 1~27 |
|------|--------------------------------------|------|------|

1546	Spatial Competition, Differentiated Commodities, and Overlapping Market Areas	中 込 正 樹	28~40
1547	コミュータ航空の展開	西 岡 久 雄 宮 城 真 宏	41~80
1548	公的年金制度の分析視点	牛 丸 聡	81~116
1549	GATT と新ラウンド：現実と理論からの挑戦	米 澤 義 衛	117~133
1550	方向（角度）変量について（その1）	鈴 木 栄 一	134~152

第38巻 第3号（1986年12月）

1551	新先行景気指数	福 原 文 雄	1~20
1552	公的年金の財源調達方法に関する考察	牛 丸 聡	21~43
1553	方向（角度）変量について（その2）	鈴 木 栄 一	44~61

第38巻 第4号（1987年3月）

1554	Treadway 投資モデルと租税の効果	堀 場 勇 夫	1~16
1555	一般化された Taylor-Malinvaud 型経済計画手順につ いての一考察	大 住 圭 介	17~37
1556	ハミルトン体制と建国初期合衆国工業（一） －建国初期保護主義運動を中心として－	田 島 恵 児	38~65

第39巻 第1号（1987年6月）

1557	租税政策と企業行動分析 －グラフィカルアプローチ－	堀 場 勇 夫 仙 波 憲 一	1~19
1558	都市労働市場における失業と賃金及びその空間的構造 に関する理論研究	中 込 正 樹	20~44
1559	大規模開発と環境問題の1側面	鈴 木 栄 一	45~69
1560	年金所得に対する課税	牛 丸 聡	70~108

第39巻 第2号（1987年10月）

1561	Qualitative Response モデルと適合度の測度 －日本経済の第10景気循環への適用をとおして－	福 原 文 雄	1~21
1562	企業投資行動と租税効果 －稼働率を加味したモデルを用いて－	堀 場 勇 夫	22~44
1563	コンピュータに関する最近の1動向について －超高速化と超大型化－	鈴 木 栄 一	45~64
1564	わが国における公的年金制度のあり方	牛 丸 聡	65~99

第39巻 第3号（1987年12月）

1565	On Existence of an Agreeable Plan in a Class of Generalized Discrete －Time Dynamic Economic Models	大 住 圭 介	1~7
1566	社会保障費用	牛 丸 聡	8~43

第39巻 第4号（1988年3月）

1567	年金受給と労働供給 ーライフ・スタイル分析の適用ー	大谷 登士雄 永 野 仁	1~22
1568	「貸越経済」と銀行システム	高橋 俊治	23~51
1569	年金資産の運用	牛丸 聡	52~79

第40巻 第1号 (1988年6月)

1570	わが国の金融の自由化と国際化の問題点	中澤 進一	1~27
1571	最近の開発多様化現象と環境変化	鈴木 栄一	28~48

第40巻 第2号 (1988年10月)

1572	産业内貿易と価格差別化	榎本 弘 山下 隆之	1~24
1573	最近の日米科学技術交流に関する諸問題	鈴木 栄一	25~41
1574	Industrial Performance, Investment and Financial Constraints: An Anatomy of the Experiences in the UK, the USA and Japan after 1970	米澤 義衛	42~90

第40巻 第3号 (1988年12月)

1575	供給複占市場のもとでの企業の長期戦略とアグリーアブル均衡	大住 圭介	1~21
------	------------------------------	-------	------

第40巻 第4号 (1989年3月)

1576	部分独占と輸入競争	榎本 弘 山下 隆之	1~21
1577	The Replacement Ratio of Public Pensions in Japan	牛丸 聡	22~41
1578	資源・エネルギーに関する最近の諸問題 (1)	鈴木 栄一	42~60

第41巻 第1号 (1989年6月)

1579	地方財政構造の変動要因分析	堀場 勇夫 江川 雅司	1~29
1580	統計学教育上の諸問題	鈴木 栄一	30~53

第41巻 第2号 (1989年10月)

1581	Income Redistribution through the Medical care Insurance System	牛丸 聡	1~25
1582	資源・エネルギーに関する最近の諸問題 (2)	鈴木 栄一	26~37

第41巻 第4号 (1990年3月)

1583	カナダ法人税制改革概要 ー米国税制改革との比較を中心としてー	堀場 勇夫	1~22
1584	1789年関税法の歴史的背景	田島 恵児	23~39

第42巻 第1-2号 大木金次郎院長・理事長追悼号 (1990年8月)

1585	フル・コスト原則と平均主要費用関数	榎本 弘	9~20
1586	景気変動モデル —多重共線性を超えて—	福原文雄	21~46
1587	地方税制度と財政錯覚 —弾力性支出仮説に関する実証研究を通して—	堀場 勇夫	47~66
1588	新税と租税心理学	日向寺 純雄	67~81
1589	エヒテルナッハ修道院所領の形成と初期フランク王国 貴族	石川 操	82~114

第42巻 第3号 (1990年12月)

1590	ソ連型全体主義的中央命令経済の破綻 —総合生産性指標の上にもみる—	福原文雄	1~23
1591	1789年関税法の成立に関する一考察	田島 恵児	24~63

第42巻 第4号 (1991年3月)

1592	経済学史通史の現状 —1990年代の通史像に向けて—	石井 信之	1~32
1593	Information Costs and Rigid Prices under Spatial Competition	中込 正樹	33~52
1594	Domestic Adjustment and Its Performance —A Statistical Review of the Manufactures in Japan and the United States—	米澤 義衛	53~93

第43巻 第1号 (1991年6月)

1595	資本移動の自由化と為替レート	大瀧 雅之	1~28
------	----------------	-------	------

第43巻 第2号 (1991年10月)

1596	補助金と財政錯覚 —日本における錯覚の検証—	堀場 勇夫	1~18
------	---------------------------	-------	------

第43巻 第3号 (1991年12月)

1597	定性要因を含む回帰分析モデルとその中古車市場価格 分析への応用	福原文雄	1~24
1598	モリス財政政策の特質と限界についての一考察	松本 幸男	25~38
1599	経済成長と地域較差, 及び日本の選択 —1970年代頃の立地・地域政策 (I) —	西岡 久雄	39~54

第43巻 第4号 (1992年3月)

1600	スタグフレーション・スパイラルの忠実再現モデル —その安定性と比較静学分析—	平澤 典男	1~27
1601	統計処理法の疑問点 —数理科学から統計科学への道—	鈴木 栄一	28~56

第44巻 第1号 (1992年6月)

- 1602 航空輸送の国際化 西岡久雄 1~20
 -21世紀に向けての航空企業戦略- 永井昇
 1603 公的年金制度を通じた資金の流れ 牛丸聡 21~58

第44巻 第2号 (1992年10月)

- 1604 わが国における公的年金制度のあり方 (II-1) 牛丸聡 1~31

第44巻 第3号 田島恵児名誉教授記念特集号 (1992年12月)

- 1605 総要素生産性指標による日米の産業別生産性の比較 福原文雄 29~62
 1606 ヘンリー・クレイの「アメリカ体制」と植民運動 平出尚道 63~79
 1607 西欧初期中世の「グルントヘルシャフト」 石川操 80~110
 -エヒテルナッハ修道院所領の形成とその構造をめぐって-
 1608 経済史の可能性 三和良一 111~163
 -歴史時間試論-
 1609 戦後復興期における融資規制と貸出市場 杉浦勢之 164~186
 -業態間構造をめぐって-
 1610 わが国における公的年金制度のあり方 (II-2) 牛丸聡 187~217

第44巻 第4号 鈴木栄一名誉教授記念特集号 (1993年3月)

- 1611 競争と市場地域の経済理論 (展望論文) 中込正樹 31~76

第45巻 第1号 (1993年6月)

- 1612 流通の経済学 (展望論文) 中込正樹 1~34
 -空間的アプローチを中心として-
 1613 経済地理学における消費者行動研究 高橋重雄 35~62

第45巻 第2号 (1993年10月)

- 1614 相互需要説の一考察-マーシャルのベイル Bale の含意 中澤進一 1~25
 1615 高齢社会と医療, 在宅・施設ケアサービスのあり方 (I) 牛丸聡 26~52

第45巻 第3号 高橋俊治助教授追悼号 (1993年12月)

- 1616 産業組織と産業政策-アメリカ塩産業のケース 原豊 25~61
 1617 信用取引と貸株市場 小林襄治 62~100
 1618 国際貿易の経済地理的アプローチ (展望論文) 中込正樹 101~142
 1619 情報産業の国際比較における注意点 美添泰人 143~168
 1620 金融システムと資本蓄積 (I) 大瀧雅之 169~202
 1621 高齢社会と医療, 在宅・施設ケアサービスのあり方 (II) 牛丸聡 203~235

第45巻 第4号 (1994年3月)

1622	ヘンリー・クレイの「アメリカ体制」と「西半球体制」	平出尚道	1~16
1623	観光と立地論 —観光旅行者の行動と観光資源魅力度—	西岡久雄 神頭広好	17~32
1624	朝鮮特需の産業連関分析	米澤義衛	33~53
1625	金融システムと資本蓄積(II)	大瀧雅之	54~72
1626	医療費, 医療供給, 保障制度の現状とその改革(I) —スウェーデン, デンマーク, および, 英国のケース—	牛丸聡	73~108

第46巻 第1・2・3号 青山学院創立120周年記念論文集(1994年12月)

1627	産業組織と産業政策—イギリス塩産業のケース	原 豊	1~29
1628	民生費のナショナルミニマムに関する一考察 —実証的アプローチの提示—	堀場勇夫 矢吹初	31~45
1629	財政学の一源泉としてのイタリア財政論	日向寺純雄	47~66
1630	イタリア金融市場の構造と変容 —1980年代の金融改革の展開と挫折—	中川辰洋	67~96
1631	Involuntary Unemployment and Multiplier —A Dynamic Microeconomic Foundation of Keynesian Economics—	大瀧雅之	97~124
1632	医療費, 医療供給, 保障制度の現状とその改革(II) —スウェーデン, デンマーク, および, 英国のケース—	牛丸聡	125~156

第46巻 第4号 西岡久雄名誉教授記念特集号(1995年3月)

1633	エヒテルナツハ修道院の創設と発展 —イルミナー族からカロリング家へ—	石川操	91~119
1634	相互需要説と為替理論	中澤進一	120~142
1635	埋没費用, リスク・シェアリング, 及び経済成長	大瀧雅之	143~176
1636	イタリア財政学の貢献(I)	日向寺純雄	177~196
1637	医療費, 医療供給・保障制度の現状とその改革(III) —スウェーデン, デンマーク, および, 英国のケース—	牛丸聡	197~223

第47巻 第1号(1995年6月)

1638	産業組織と産業政策—中国塩産業のケース	原 豊	1~27
1639	カシアス・M・クレイと反奴隷制運動	平出尚道	28~50
1640	発展途上国の近代的部門と伝統的部門の地域的均衡分析(I)	中込正樹	51~70

第47巻 第2号(1995年10月)

1641	経済発展, 国際貿易と物価構造 —通説と事実(統計的検証)—	米澤義衛	1~40
------	-----------------------------------	------	------

1642 発展途上国の近代的部門と伝統的部門の地域的均衡分析(Ⅱ) 中 込 正 樹 41~67

第47巻 第3号 深澤實名誉教授記念特集号(1995年12月)

1643 産業組織と産業政策—対日塩輸出国塩産業のケース
I. インド 原 豊 5~29

1644 日本的景気循環と経済成長 大 瀧 雅 之 31~51

1645 老人福祉施設に関する考察
—地域間拡差, 民営・公営を中心として— 矢 吹 初 53~84

1646 イタリア財政学の貢献(Ⅱ) 日向寺 純雄 85~115

第47巻 第4号(1996年3月)

1647 本邦外債発行の展開と変貌
—1980年代以降の発行状況を中心にして— 中 川 辰 洋 1~31

1648 逐次型支店配置モデル構築の試み
—クリスタラー体系におけるモデルのシミュレーション— 須 田 昌 弥 33~50

1649 産業組織と産業政策—対日塩輸出国塩産業のケース
II. メキシコ III. チリ IV. オーストラリア 原 豊 51~89

第48巻 第1号(1996年6月)

1650 不完全情報と補助金政策
—非対称情報のケース— 堀 場 勇 夫 1~30

1651 共通通貨創出と欧州の世論
—マース・グループのヒアリング調査を中心にして— 中 川 辰 洋 31~60

1652 インデックス取引と株価形成
—イベント・スタディに基づく実証研究— 芹 田 敏 夫 61~80

1653 施設福祉と在宅福祉の最適供給 矢 吹 初 81~103

1654 日本の消費関数の安定性について 美 添 泰 人 105~138
荒 木 万 寿 夫

第48巻 第2号(1996年10月)

1655 EMU と中央銀行の独立性
—中央銀行の政策選好のコンバージェンス— 中 川 辰 洋 1~32

1656 産業組織と産業政策—ヨーロッパ塩産業のケース
I. フランス II. ドイツ 原 豊 33~75

第48巻 第3号(1996年12月)

1657 セミパラメトリック最尤推定量の一致性
—キーファー=ウォルフオイッツ条件を巡って— 後 藤 文 廣 1~19

1658 EMU 過渡期のフランス国債市場
—共通通貨ユーロの導入をめぐるフランスの対応— 中 川 辰 洋 21~52

1659	産業組織と産業政策－ヨーロッパ塩産業のケース III. イタリア IV. オーストリア	原 豊	53～88
------	--	-----	-------

第48巻 第4号 (1997年3月)

1660	The Very-Large-Population-Countries' Position in the World Economy	James E. Lande	1～12
1661	共通通貨導入と企業の対応 －AMUE レポートを中心にして－	中川 辰洋	13～42
1662	1995年の金融政策	成田 淳司	43～78
1663	アメリカ合衆国における主要企業の本社立地の変化	高橋 重雄	79～104
1664	国際物価構造の変動 －ICP データによる検証－	米澤 義衛	105～121
1665	産業組織と産業政策－ヨーロッパ塩産業のケース V. オランダ	原 豊	123～135

第49巻 第1号 (1997年6月)

1666	EMU と南ヨーロッパ諸国 －イタリアの ERM 復帰を中心にして－	中川 辰洋	1～32
1667	複数の標本調査の同時実施について	美添 泰人	33～65

第49巻 第2号 (1997年10月)

1668	「アムステルダム」後の EMU の課題 －最終局面を迎えたヨーロッパ通貨統合－	中川 辰洋	1～30
1669	家計の消費と資産の構造分析	美添 泰人 荒木 万寿夫	31～60

第49巻 第3号 (1997年12月)

1670	フランス新政権の100日 －ヨーロッパに向かう「左翼現実路線」－	中川 辰洋	1～30
1671	日本の家計部門における金融資産蓄積の推移とその形 態 －1959年から1996年まで－	成田 淳司	31～56
1672	電気機械産業における研究開発支出の分析	美添 泰人 荒木 万寿夫	57～76
1673	社会福祉における地方の優位性について (I) －情報理論からのアプローチ－	矢 吹 初	77～100

第49巻 第4号 (1998年3月)

1674	マーシャル・ピグー・費用論争 －組織の解体と「市場の完全化」－	藤井 賢治	1～20
1675	産業分類へのクラスター分析の適用	美添 泰人 細倉 昌子	21～42
1676	社会福祉における地方の優位性について (II) －情報理論からのアプローチ－	矢 吹 初	43～72

第50巻 第1号 (1998年6月)

- 1677 ブレア労働党政権とポンド問題
—イギリスの EMU 政策の回顧と展望— 中川辰洋 1~28
- 1678 経済発展と伝統的部門 中込正樹 29~59

第50巻 第2号 (1998年10月)

- 1679 ヨーロッパ単一通貨圏の誕生
—ブリュッセル首脳会議のインプリケーション— 中川辰洋 1~30
- 1680 逐次型支店配置モデルの我が国への適用 須田昌弥 31~48
- 1681 老人福祉と1990年改正(Ⅰ)
—改正の経済学的検討— 矢吹初 49~81
内山義英

第50巻 第3号 (1998年12月)

- 1682 為替変動と小売価格
—価格破壊現象へのゲーム理論的アプローチ— 後藤文廣 1~24
松下正弘
山下隆之
- 1683 過失相殺ルール of 経済分析 平澤典男 25~42
- 1684 相互需要説と金本位
—金本位抜きで相互需要説が語れるか— 中澤進一 43~57
- 1685 老人福祉と1990年改正(Ⅱ)
—改正の経済学的検討— 矢吹初 59~95
内山義英

第50巻 第4号 原豊名誉教授記念特集号 (1999年3月)

- 1686 マーシャル, ヴェブレン, シュンペーター
—定型の多様性と自発的学習の観点からの比較— 藤井賢治 5~20
- 1687 財政理論と国家理論 日向寺純雄 21~43
- 1688 ロサンゼルス都市圏における業務核立地パターンの変化 高橋重雄 45~71
- 1689 神学とポスト・モダンの経済倫理 東方敬信 73~97

第51巻 第1・2・3号 経済学部設立50周年記念論文集 (1999年12月)

- 1690 A Revisit to the Decreasing Price Anomaly 馬場弓子 1~10
- 1691 ケインズの「消費性向」をめぐる初期の論争
—いわゆる「正常心理法則」の含意と課題— 榎本弘 11~42
- 1692 マーシャルからフリードマンへ
—進化論的経済理解と方法論— 藤井賢治 43~59
- 1693 東アジアの構造調整とコーポレート・ガバナンス形成
—韓国の事例を中心に— 深川由起子 61~98
- 1694 炭素税の効果分析
—物流業のケース— 日向寺純雄 99~131
佐藤信洋
- 1695 占領期の日本造船規制の実態 三和良一 133~163
- 1696 日中取引データから見た日本の株式市場の基本特性 芹田敏夫 165~204
- 1697 企業部門の流動性と実物投資の実証分析 清水克俊 205~239
- 1698 事業所に関する統計的推論の問題 美添泰人 241~268

1699 キリスト教と資本主義 東方敬信 269~295
—ウェーバーとトニー— (1)

第51巻 第4号 石川操名誉教授記念特集号 (2000年3月)

1700 アメリカ「南部」奴隷制と保護主義 平出尚道 5~23
—1824年関税法を中心に—
1701 電信と電灯 黒沼健 25~34
—19世紀電気技術史の再検討—
1702 宇野発展段階論の可能性 三和良一 35~70
—馬場宏二説と加藤榮一説の検討を通して—
1703 4社体制確立過程における証券金融問題 杉浦勢之 71~92
—戦後証券市場の展開過程—
1704 ナチス期におけるライン・ヴェストファーレン電力株式 田野慶子 93~114
会
1705 A Role of Statistical Matching in Analyzing 美添泰人 115~139
Household Surveys 荒木万寿夫

第52巻 第1号 (2000年6月)

1706 Procurement Auctions with Synergies 馬場弓子 1~18
1707 為替変動、対外直接投資、及び産業の空洞化 松下正弘 19~37
1708 日本のビッグバン 成田淳司 39~53
—途上国金融改革へのインプリケーション—

第52巻 第2号 日向寺純雄名誉教授記念特集号 (2000年9月)

1709 Tanner-Sherrattモデルにおける最適施設設置問題 青木優 5~21
—計算幾何学と物理学からのアプローチ—
1710 地方分権と所得再分配政策 (展望) 堀場勇夫 23~52
1711 経済変動とフラクタル次元の推定 高橋朋一 53~67
1712 階層的政府構造と租税競争 矢吹初 69~98
1713 不完備情報下における公的給付政策 吉岡祐次 99~116
1714 標本調査法の基礎理論—その1 美添泰人 117~149

第52巻 第3号 榎本弘名誉教授記念特集号 (2000年12月)

1715 地方分権と効率的資源配分 (展望) 堀場勇夫 5~35
1716 合理的経済人と法学的人間像 中込正樹 37~66
—刑法・犯罪学から学ぶこと—
1717 金本位下の為替理論 中澤進一 67~82
—新庄博氏の為替理論—
1718 日中気配値データを用いた日経平均オプションの実証分 芹田敏夫 83~102
1719 標本調査法の基礎理論—その2 美添泰人 103~131

第52巻 第4号 石畑良太郎名誉教授記念特集号 (2001年3月)

1720 「アメリカ体制」研究の現在 平出尚道 5~18
1721 日本商法「他人の生命の保険契約」の系譜 本間照光 19~57
—「利益主義」を包摂する「同意主義」—
1722 高齢化社会における公的年金制度の持続可能性 中村まづる 59~81
1723 不完備情報下における租税政策と社会保険制度 吉岡祐次 83~117
1724 探索的データ解析と景気指標 美添泰人 119~142

1725	戦後日本のホワイトカラー労働組合主義の特質と展開(1)	松尾孝一	143~171
1726	農地改革の経済政策史的検討 —政策決定過程からのアプローチ—(上)	三和良一	173~202
1727	酒飲みの経済分析 —日本におけるビール産業の発展と市場構造の変容 (1)：需要サイドの数量分析—	米澤義衛	203~221

第53巻 第1号 (2001年6月)

1728	戦後日本のホワイトカラー労働組合主義の特質と展開(2) —自治体職員組合の事例を中心に—	松尾孝一	1~32
1729	農地改革の経済政策史的検討 —政策決定過程からのアプローチ—(下)	三和良一	33~69

第53巻 第2号 (2001年9月)

1730	Information in Semiparametric Models	後藤文廣	1~22
1731	資本主義経済は何故速く成長するのか —「資本主義は何なのか」—	三和良一	23~51

第53巻 第3号 (2001年12月)

1732	財と情報の特性からみた企業のオフィス=工場立地パターン	須田昌弥	1~16
1733	わが国の統計調査用語の概観	美添泰人	17~34

第53巻 第4号 (2002年3月)

1734	A Comparison of Market Structures in R&D with Endogenous Spillovers	馬場弓子	1~16
1735	資産価格の変動と再建型倒産法制	内野耕太郎	17~49

第54巻 第1号 (2002年6月)

1736	地域通貨 —市場の失敗への新たな処方箋—	中込正樹 小林健太郎 岩崎隆大 小笠原崇	1~25
1737	株価の回帰直線への当てはめとニューラルネットワーク による株価の長期予測システム	高橋朋一	27~47

第54巻 第2号 (2002年9月)

1738	European Monetary Integration 1969-2002: The Long and Winding Road that Led to the Euro	中川辰洋	1~27
1739	ルール化された一般補助金とモラルハザード (I)	矢吹初	29~64

第54巻 第3号 大谷登士雄名誉教授記念特集号 (2002年12月)

1740	Auctions are not Always in behalf of Consumers	馬場弓子	3~19
1741	転換期のリージョナル・シアター —求められるリーダーシップ—	堀真理子	21~42
1742	地方公務員の初期キャリア管理 —政令指定都市A市の大卒事務系職員の実例から—	松尾孝一	43~81

1743	経済政策史のケース・スタディ —松方財政—	三 和 良 一	83~126
1744	財政再建における公的年金制度の民営化 —イギリスの年金改革をめぐって—	中村まづる	127~154
1745	「公的部門における直接的雇用創出策」をめぐる国際的 動向 —OECDでの研究を題材として—	白 井 邦 彦	155~194
1746	経済分析における統計的手法の問題点	美 添 泰 人	195~217
1747	キリスト教と資本主義 —ウェーバーとトニー (2) —	東 方 敬 信	219~254
1748	100年/個のデータと4社/冊の社史の経済分析 —日本におけるビール産業と市場構造の変容(2-1): 供給サイドのパターン/物語分析—	米 澤 義 衛	255~285

第54巻 第4号 大住栄治名誉教授記念特集号 (2003年3月)

1749	韓国の構造改革と制度再配置 —経路依存的変化と補完性構築の重要性—	深川由起子	3~26
1750	地方交付税制度とモラルハザード —固定資産税制度との関連で—	堀場勇夫 持 田信樹 深江 敬 志	27~58
1751	経済政策史のケース・スタディ —井上財政—	三 和 良 一	59~106
1752	ルール化された一般補助金とモラルハザード(II)	矢 吹 初	107~140

第55巻 第1号 (2003年6月)

1753	100年/個のデータと4社/冊の社史の経済分析 —日本におけるビール産業と市場構造の変容(2-2): 供給サイドのパターン/物語分析—	米 澤 義 衛	1~32
------	---	---------	------

第55巻 第2号 (2003年9月)

1754	Film Production Financing in the United States	Marc C.	1~15
1755	補助金政策と情報構造	矢 吹 初	17~44

第55巻 第3号 (2003年12月)

1756	近代製鉄技術の導入過程について —幕末の反射炉から官営八幡製鉄所まで—	黒 沼 健	1~20
1757	公的年金改革の方向性 —積立金資金運用考察の視点—	中村まづる	21~50

第55巻 第4号 三和良一名誉教授記念特集号(2004年3月)

1758	アンティベラム期レイジアナ州における「アメリカ体 制」	平 出 尚 道	53~69
1759	Liquidation Cost and Capital Structure in Japan	清 水 克 俊	71~91
1760	雇用保護制度と雇用失業との相関分析 —OECDによる研究を題材として—	白 井 邦 彦	93~139
1761	戦後占領政策の転換と証券取引所 —戦後証券市場の再開過程—	杉 浦 勢 之	141~168

第56巻 第1号 (2004年6月)

1762	GISによる認知地図分析に関する考察 —ファジイ尺度導入の意義—	三 條 和 博	1~13
1763	支店配置モデルの再検討 —現実との整合性を求めて—	須 田 昌 弥	15~28

第56巻 第2号 (2004年9月)

1764	農産物における仮想水概念導入の問題点	三 條 和 博	1~15
1765	統計データアーカイブの現状と官庁統計における今後の課題	美 添 泰 人	17~38

第56巻 第3号 (2004年12月)

1766	日本における水問題からみた水利用概念の検討	三 條 和 博	1~29
1767	量産組立型産業における人材活用戦略の新展開 —生産工程業務での請負労働者活用拡大のメカニズム	白 井 邦 彦	31~63

第56巻 第4号 (2005年3月)

1768	サイバー環境を利用した英語教育	小 張 敬 之	1~19
1769	日本における高分解能衛星画像の利用動向	三 條 和 博	21~41
1770	統計的照合手法の基礎理論と最近の適用例	美 添 泰 人	43~71

第57巻 第1号 (2005年6月)

1771	大学生における環境意識の実態 —青山学院大学1年生について—	三 條 和 博	1~37
------	-----------------------------------	---------	------

第57巻 第2号 (2005年9月)

1772	Maintaining Reputation during a Financial Crisis	Katsutoshi	1~24
1773	青山学院大学1年生における環境意識と行動(I)	三 條 和 博	25~47
1774	近年における日本の雇用保護制度改革の国際的位置 (上)	白 井 邦 彦	49~65

第57巻 第3号 (2005年12月)

1775	ソフトウェア開発における高機能化とサンプル配布戦略の	石 橋 郁 雄	1~15
1776	日本の官庁統計と経済統計改革	美 添 泰 人	17~42
1777	イタリア銀行セクターの再編成と変容(I) —5大銀行グループへの集中進む銀行市場—	中 川 辰 洋	43~71
1778	青山学院大学1年生における環境意識と行動(II)	三 條 和 博	73~102
1779	近年における日本の雇用保護制度改革の国際的位置 (下)	白 井 邦 彦	103~131

第57巻 第4号 (2006年3月)

1780	日本における防災GISの現状と課題	三 條 和 博	1~32
1781	GISを用いた郵便局と民間金融機関の配置についての空間分析	高 橋 朋 一	33~55
1782	イタリア銀行セクターの再編成と変容(II) —5大銀行グループへの集中進む銀行市場—	中 川 辰 洋	57~79

第58巻 第1号 (2006年6月)

1783	IT 化進捗度の実証分析 —個票データを用いた分析—	宮原 勝一	1~13
1784	わが国地方財政の外れ値 —交付税の財政調整の視点から—	矢吹初 高 橋朋一 吉岡 祐 次	15~50
第58巻 第2号 (2006年9月)			
1785	日本の景気循環の構造 —マクロ経済時系列における循環成分と傾向成分—	宮原 勝一	1~17
1786	コーホート・データによる1990年以降の消費・貯蓄行動	成田 淳司	19~45
第58巻 第3号 (2006年12月)			
1787	コーホート・データによる1966年以降の金融資産残高・ 負債残高の推移	成田 淳司	1~24
1788	大学生における生活用水の認識 —学生レポートの分析から—	三條 和博	25~51
1789	リサーチール・カンティヨンと価格メカニズム (I) —「経済学の揺籃」の意味するもの—	中川 辰洋	53~86
第58巻 第4号 熊谷彰矩名誉教授記念特集号 (2007年3月)			
1790	「エリート」予備軍への職業教育の現状と課題 —進学校アンケートの結果から—	松尾 孝一	3~35
1791	GISを用いた郵便局と民間金融機関の地域間格差の検証	高橋 朋一	37~61
1792	政策評価における統計の役割と消費者物価指数	美添 泰人	63~86
1793	リサーチール・カンティヨンと価格メカニズム (II) —「経済学の揺籃」の意味するもの—	中川 辰洋	87~114
第59巻 第1号 (2007年6月)			
1794	産業集積とイノベーションに関する実証分析	宮原 勝一	1~14
1795	社会的経済論ノート —フランス型「社会的企業」を中心にして—	中川 辰洋	15~52
1796	GISを用いた農協の統廃合による店舗の空間分析	高橋 朋一	53~72
第59巻 第2号 (2007年9月)			
1797	SNA消費データ分類による消費理論の検証	後藤 智弘	1~19
1798	統計による客観的根拠と政策立案	美添 泰人	21~35
1799	フランス協同組合銀行セクターの構造と変容 (I) —NATIXISグループの誕生を中心にして—	中川 辰洋	37~69
第59巻 第3号 (2007年12月)			
1800	公的統計の提供と高度利用	美添 泰人 荒木万寿夫	1~23
1801	フランス協同組合銀行セクターの構造と変容 (II) —NATIXISグループの誕生を中心にして—	中川 辰洋	25~46
第59巻 第4号 (2008年3月)			
1802	18・19世紀スコットランド・ハイランドにおける麻工業	平出 尚道	1~15

第60巻 第1号 (2008年6月)

1803 東アジアにおける産業集積の要因分析 宮原 勝一 1~18

第60巻 第2号 (2008年9月)

1804 Sequential Auctions with Common Preferences Yumiko Baba 1~14

1805 プロスポーツリーグにおける戦力均衡と観客数の
関連性—J1リーグの場合— 福原 崇之 15~47

1806 資本の移動コストと租税競争 矢吹 初 49~79

第60巻 第3号 (2008年12月)1807 Sabotage in Contests with Inequity Averse
Contestants Yumiko Baba 1~211808 転機に立つフランス協同組合銀行セクター
—庶民銀行・貯蓄銀行合併のインプリケーション— 中川 辰洋 23~47**第60巻 第4号** (2009年3月)

1809 Prospect Theory and Auctions Yumiko Baba

II 叢説**第9巻 第1号** (1957年6月)2000 メリーランドの土地制度 (上)
—アメリカに於ける封建的遺制について— 田島 恵児 95~1062001 株式売買に関する判例と商慣習
—特に証券取引に於ける商慣習について— 裏 得 郎 107~122**第9巻 第4号** (1958年3月)2002 アレクザンダー・ハミルトンに関する最近の研究につ
いて 田島 恵児 161~176

2003 工業用水問題について 西岡 久雄 177~184

第10巻 第3号 (1958年12月)2004 低価主義の変遷
—アメリカ会計士協会の歩みを中心として— 関口 重之 59~76**第10巻 第4号** (1959年3月)2005 アレクザンダー・ハミルトン「製造工業に関する報告
書」の基礎資料について 田島 恵児 65~74
松井 透
山田 良治**第12巻 第2号** (1960年9月)

2006 ソ連邦の工業立地問題 伊藤 久秋 143~160

第13巻 第1号 (1961年6月)

2007	Iona Community 研究 — 宗教社会学的研究への序説 —	榊原 巖	107~149
2008	生産管理ノート (1)	石田 武雄	151~180
第13巻 第2号 (1961年9月)			
2009	生産管理ノート (2)	石田 武雄	79~144
第13巻 第3号 (1961年12月)			
2010	Koinonia の現代的追求 — 現代宗教社会学の一齣 —	榊原 巖	125~162
第13巻 第4号 (1962年3月)			
2011	価格分析の基礎理論 (上) — 消費に関する基本法則 —	榎本 弘	123~186
2012	Koinonia の現代的探求 (2)	榊原 巖	187~225
2013	生産管理ノート (3)	石田 武雄	227~258
第14巻 第1号 (1962年6月)			
2014	職務分析の基礎	石田 武雄	75~96
2015	価格分析の基礎理論 (中) — 生産に関する基本法則 —	榎本 弘	97~156
2016	Koinonia の現代的探求 (3) — 現代宗教社会学の一齣 —	榊原 巖	157~192
第14巻 第2号 (1962年9月)			
2017	確定的意思決定と無確定的意思決定	石田 武雄	75~96
2018	Hutterian Brethren の研究 — 現代宗教社会学研究の一齣 —	榊原 巖	97~135
2019	タルコット・パーソンズの社会理論 (I)	富本 繁	137~166
2020	価格分析の基礎理論 (下) — 価格形成に関する基本法則 —	榎本 弘	167~208
第14巻 第3号 (1962年12月)			
2021	Hutterian Brethren の研究 (3) — 現代宗教社会学研究の一齣 —	榊原 巖	91~122
第15巻 第1号 (1963年4月)			
2022	Hutterian Brethren の研究 (4) — 現代宗教社会学研究の一齣 —	榊原 巖	51~92
第15巻 第2号 (1963年6月)			
2023	Hutterian Brethren の研究 (5) — 現代宗教社会学研究の一齣 —	榊原 巖	37~77

第15巻 第3号 (1963年11月)

- 2024 Hutterian Brethren の研究 (6)
—現代宗教社会学研究の一齣— 榊原 巖 73~117

第16巻 第1号 (1964年7月)

- 2025 1880年代の資本家団体
—東京商工会の設立とその活動— 三和 良一 51~89
2026 工業立地の計画と現実 西岡 久雄 91~118

第16巻 第3号 (1965年2月)

- 2027 組織的決定機構序説 石田 武雄 75~91

第17巻 第1号 (1965年6月)

- 2028 Communal Life に就いての書翰 (1)
—1650年の Hutterites の告示— 榊原 巖 93~116

第17巻 第2号 (1965年9月)

- 2029 The Economics of the Escalator Clause 大谷 登士雄 49~67
2030 危険管理の概念化 富本 繁 69~110
2031 組織的決定機構序説 石田 武雄 111~124
2032 Communal Life に就いての書翰 (二)
—1650年の Hutterites の告示— 榊原 巖 125~149

第17巻 第3号 (1965年12月)

- 2033 保険機構と保険制度 富本 繁 67~104
2034 Hutterites の教育としつけ
(1) 1578年の学校条令
(2) 1568年の教育会議における Peter Scherer の
訓辞 榊原 巖 105~126
2035 統計学における一つの問題について 二宮 理憲 127~130
2036 The Economics of the Escalator Clause (2) 大谷 登士雄 131~160

第17巻 第4号 (1966年3月)

- 2037 生産管理と労務管理 石田 武雄 109~143
2038 農家の消費函数
—タイム・シリーズとクロス・セクションとの差に
ついて— 上岡 一嘉 145~162
平川 孝三郎
2039 わが国の経済立地論の回顧 (上) 西岡 久雄 163~184
2040 フッターライト兄弟団とは何か 榊原 巖 185~215

III 研究ノート

第12巻 第1号 (1960年6月)

3000 管理論史について 坂井 正 廣 124~142

第12巻 第2号 (1960年9月)

3001 ヘンリイ・R・タウンについて 坂井 正 廣 161~173

第12巻 第3号 (1960年12月)

3002 制度的分析のための理論的基礎 (I)
—パーソンズ社会学のコンティニューイティ— 富 本 繁 94~138

第12巻 第4号 (1961年3月)

3003 科学的管理の生成 坂井 正 廣 103~115

—H・R・タウンからF・W・テイラーへ—

3004 制度的分析のための理論的基礎 富 本 繁 116~163

—パーソンズ社会学のコンティニューイティ II-1—

第13巻 第1号 (1961年6月)

3005 制度的研究のための理論的基礎 富 本 繁 181~229

—パーソンズ社会学のコンティニューイティ
(II - 2) —

第13巻 第2号 (1961年9月)

3006 予算決定と社会的選択 日向寺 純雄 145~168

—マスグレーブの公共欲望充足論を中心にして—

3007 制度的分析のための理論的基礎 富 本 繁 169~214

—パーソンズ社会学のコンティニューイティ
(II - 3) —

第13巻 第3号 (1961年12月)

3008 課税と危険負担 日向寺 純雄 163~180

3009 地理的乗数または地域的乗数について (上) 西岡 久 雄 181~220

3010 科学的管理と労働 坂井 正 廣 221~241

—テイラー・システムの展開—

第13巻 第4号 (1962年3月)

3011 課税所得と経済理論における所得 日向寺 純雄 259~277

—カルドアの所得概念批判を中心にして—

3012 管理論史研究序説 坂井 正 廣 279~310

3013 方法論的思考 富 本 繁 311~360

第14巻 第3号 (1962年12月)

3014 マネジメント小論 坂井 正 廣 123~134

3015 ソローによるヴィクセル分配モデルの展開について 大谷 登 士 雄 135~152

3016 経済成長と技術進歩の二部門モデル
ー線型モデルの成長率分析ー 新田 政 則 153~176

第14巻 第4号 森文三郎教授記念号 (1963年2月)

3017 工業集積に関する覚書
ー特に集積測定法についてー 西岡 久 雄 51~74

3018 イタリア財政理論の特質
ー特に一般均衡理論的性格と社会的選択論をめぐってー 日向寺 純雄 75~94

3019 利益主義学説と累進説 武田 一 郎 95~114

第15巻 第3号 (1963年11月)

3020 管理論の文献史的研究
ー1886年から1915年迄ー 坂井 正 廣 119~132

3021 J. ロビンソンの消費過少説的見解について 新田 政 則 133~158

第15巻 第4号 関口重之教授追悼号 (1964年3月)

3022 経済生活の社会学的分析 富 本 繁 97~138

3023 シュマーレンバッハ計算原則の構造 岡 下 敏 139~156

第16巻 第4号 櫻井欣一郎教授追悼号 (1965年3月)

3024 累進税の根拠としての社会政策説 武田 一 郎 127~145

第17巻 第3号 (1965年12月)

3025 産業関係論小史 坂井 正 廣 161~170

第17巻 第4号 (1966年3月)

3026 経営者哲学の発展と管理論史
ーマネジメントの实践と理論ー 坂井 正 廣 217~243

3027 Simulation に用いる擬似乱数のテストの結果 相良 信子 245~260

第18巻 第2号 (1966年10月)

3028 技術的变化と港湾労働者
ー米国西海岸の場合ー 大谷 登士雄 99~112

第18巻 第3号 (1966年12月)

3029 いわゆる「資本集約度假説」について 太 田 浩 149~166

第19巻 第1号 (1967年6月)

3030 A Note on Japan's Liberalization of
International Investments James E. Lande 63~69

3031 地域構造論に関する覚書 (上)
ーチューネン, ウェーバー, クリスタラー, ベヴェンターー 西岡 久 雄 70~86

第19巻 第2号 (1967年10月)

3032 国際特化の変化と国際貿易機構の原理 ランデス・ハル 93~101

第19巻 第3号 (1967年12月)

3033 地域構造論に関する覚書 (中)
—チューネン, ウェーバー, クリスタラー,
レッシュ, ベヴェンター— 西岡 久雄 115~134

第19巻 第4号 (1968年3月)

3034 アメリカ経済史におけるマニユスクリプト資料による
研究方法について 田島 恵児 72~82

第20巻 第1号 (1968年6月)

3035 ハミルトン『製造工業に関する報告書』の資料につい
て 田島 恵児 48~60

3036 地域構造論に関する覚書 (下)
—チューネン, ウェーバー, クリスタラー, レッシ
ュ, ベヴェンター— 西岡 久雄 61~85

第20巻 第2号 (1968年10月)

3037 物価指数ノート (1)
—Divisia 指数について— 森田 優三 74~86

3038 計量地理学の胎動 西岡 久雄 87~100

第20巻 第3号 (1968年12月)

3039 G-S. の「貨幣の非中立性」論 山田 良治 88~108

第20巻 第4号 (1969年3月)

3040 中高年労働力の経済分析 大谷 登士雄 73~102

3041 物価指数ノート (2)
Theil 指数について
—指数理論と情報理論— 森田 優三 103~116

第21巻 第1号 (1969年6月)

3042 国内通貨と世界貨幣 “金”
—1つのマルクス紙幣論解釈— 天利 長三 93~103

3043 Economic Impact of the Vietnam War on three
Developing Countries James E. Lande 104~114

第21巻 第2号 (1969年10月)

3044 アダム・スミスの思想の方法論的基礎
—遺稿『哲学論文集』を中心に— 榎本 弘 115~143
石井 信之

3045 CES 生産関数の一般化と計測方法 石渡 茂 144~154

3046 物価指数論ノート (3) 森田 優三 155~168
—アグリゲーションの問題としての物価指数—

第21巻 第3号 (1969年12月)

3047 \$1=¥360 レートについての錯覚 天利 長三 63~113

第21巻 第4号 (1970年3月)

3048 Agricultural Development and the Asian Coconut Community James E. Lande 83~98

3049 物価指数論ノート (4) 森田 優三 99~111
—2, 3の実際問題について—

第22巻 第1号 (1970年6月)

3050 わが国における金融制度の再編成について 天利 長三 85~108
—金融制度調査会民間金融機関に関する特別委員会
第一分科会報告を読んで—

第22巻 第2号 (1970年10月)

3051 財政政策と金融メカニズム (1) 天利 長三 126~158

3052 寡占についての二つの問題 山田 欽一 159~169

第22巻 第3号 (1970年12月)

3053 予測と経済効果 鈴木 栄一 129~141

3054 財政政策と金融メカニズム (2) 天利 長三 142~165

第23巻 第2号 (1971年10月)

3055 空間的差別価格政策の産出効果 太田 浩 91~102

第23巻 第3号 (1971年12月)

3056 イギリス19世紀末期における危険性産業の「衛生・安全」規則に関するノート (1) 石畑 良太郎 95~101

第23巻 第4号 (1972年3月)

3057 J・F・デューの経済発展の租税政策論 (I) 深澤 實 107~120

3058 イギリス19世紀末期における危険性産業の「衛生・安全」規則に関するノート (2) 石畑 良太郎 121~129

第24巻 第1号 (1972年6月)

3059 調査書による入学者選抜方式 (1) 福原文雄 118~131

第24巻 第2号 (1972年10月)

3060 J・F・デューの経済発展の租税政策論 (II) 深澤 實 81~97

第24巻 第4号 (1973年3月)

- 3061 アダム・スミスに関する新研究
 -T・D・キャンベルの著作『アダム・スミスの道徳科学』をめぐって- 石井 信之 92~108
- 3062 フィリピンの対米通商政策のゆくえ ランデス・ハル 109~117

第25巻 第1号 (1973年6月)

- 3063 Professor Landes and the Dollar Overhang Martin Bronfenbrenner 66~68
- 3064 Reply to Professor Bronfenbrenner James E. Lande 68~74
- 3065 立地論の基礎概念についての試論 西岡 久雄 75~93
- 3066 最近における縁辺労働力の動向について 大谷 登士雄 94~113

第25巻 第2号 (1973年10月)

- 3067 形態のちがう分布の統一化試論 鈴木 栄一 68~76
- 3068 Professor Okishio on Two Marxian Theorems 太田 浩 77~87
- 3069 調査書による入学者選抜方式(2) 福原文雄 88~104
- 3070 J・F・デューの経済発展の租税政策論(Ⅲ) 深澤 實 105~122
- 3071 再生産表式の若干の問題点について 天利 長三 123~144
 宅和 公志

第25巻 第3号 (1973年12月)

- 3072 A Greedy Method for the Maximum Capacity Route Problem 高 森 寛 102~105

第26巻 第1・2・3合併号 青山学院創立100周年記念論文集 (1974年11月)

- 3073 運送費極小地について 西岡 久雄 327~351
 -伝統的立地論とビジネス・ロジスティクスその他との共通研究領域-
- 3074 井の頭線駅前商店街の立地的諸特性 奥野 隆史 353~382
- 3075 ネットワークにおける探索と最短経路に関する諸問題 高 森 寛 383~405

第26巻 第4号 (1975年3月)

- 3076 国際貨幣経済学への一接近 天利 長三 53~65
 -R. A. マンデルの試みについて- 宅和 公志
- 3077 A Note on Simultaneous Confidence Intervals 山根 太郎 67~72
 小林 三郎
 小沼 博義
- 3078 J・F・デューの経済発展の租税政策論(完) 深澤 實 73~90

第27巻 第1号 (1975年6月)

- 3079 イタリア財政社会学のシェーマ 日向寺 純雄 47~59
- 3080 三貨制度と墨西哥銀 吉川 光治 61~74

第27巻 第2号 (1975年10月)

- 3081 立地研究における若干の問題点について(Ⅰ) 西岡 久雄 59~71

3082 On the Linear Regression Analysis of Variables with Errors and Serially-correlated Disturbances 鈴木 栄一 73~88
川畑 興求

3083 A Multiplier Analysis of the Aoyama Model I 山根 太郎 89~97
小林 三郎
谷 重雄

第27巻 第3号 (1975年12月)

3084 立地研究における若干の問題点について (II) 西岡 久雄 105~126

第27巻 第4号 (1976年3月)

3085 所得と教育に関する一計量分析 大谷 登士雄 115~121

3086 The Consumption Sector of the Japanese Economy -Some New Evidence 山根 太郎 123~138
青木 俊介

第28巻 第1号 (1976年6月)

3087 時系列データにおけるトレンドの大標本的漸近推定 鈴木 栄一 73~82
大橋 明德

3088 同時方程式モデルにおける定性的要因と集約尤度関数 福原文雄 83~94

3089 卸売業立地論序説 (上) 西岡 久雄 95~120

第28巻 第2号 (1976年10月)

3090 貨幣的成長論の一視点 天利 長三 100~112
-M. Sidrauski Model について- 宮本 吉次郎

3091 Estimation of Embodied and Disembodied Technical Progress (I) 山根 太郎 113~131
稲田 光治
森崎 初男

第28巻 第3号 (1976年12月)

3092 社会科学のあり方を考える 福原文雄 110~121
-太田浩氏の論文に関連して-

3093 立地研究における若干の問題点について (III) 西岡 久雄 122~136

第28巻 第4号 (1977年3月)

3094 アダム・スミス新研究の出発点 石井 信之 105~115
-『国富論』刊行200年-

3095 工業多角度の測定法について 西岡 久雄 116~159

3096 Consumer Expenditures and Installment Debt 山根 太郎 160~165
青木 俊介

第29巻 第1号 (1977年6月)

3097 A Method of Constrained Two Stage Least Squares and the Asymptotic Distribution of the Estimator 福原文雄 109~117

3098 卸売業立地論序説 (下) 西岡久雄 118~142

第29巻 第2号 (1977年10月)

3099 福原氏の拙稿批判について 太田浩 130~136

第29巻 第3号 日下藤吾教授退任・名誉教授記念特集 (1977年12月)

3100 福島県相双地域の商業について 西岡久雄 250~279

3101 太田氏の数学と仮定について (1) 福原文雄 281~287

第29巻 第4号 (1978年3月)

3102 Courant-Fischer の定理と Durbin-Watson 比 福原文雄 73~83

3103 予測理論における最近の動向 鈴木栄一 84~96

3104 The Wage-Price Sector of Aoyama Model II 山根太郎 97~107

3105 太田氏の「数学と仮定」について (2) 森崎初男 福原文雄 108~115

第30巻 第1号 (1978年6月)

3106 Olech の定理による IS-LM Dynamic Model の安定性 山根太郎 178~184
についての一考察 小林三郎

第30巻 第2・3・4号 青山学院大学経済学部創立30周年記念論文集 (1979年2月)

3107 『道徳感情論』の観点からみた『国富論』の社会倫理 石井信之 323~331

3108 生産関数の推定について 石渡茂 333~347

3109 韓国修学旅行コース視察団に参加して 本田重美 西岡久雄 349~357

3110 The Translog Production Function and its 岡村稔 山根太郎 359~381
Application to the Japanese Economy 森崎初男

第31巻 第1号 (1979年6月)

3111 国有林野前史 (1) 金丸平八 53~68

第31巻 第2号 (1979年10月)

3112 ビール産業の産業組織的特性について (1) 原豊 55~65

3113 米国の立地・環境政策について 西岡久雄 66~81

第31巻 第4号 天利長三名誉教授記念特集号 (1980年3月)

3114 Keynes の超国家的銀行構想 中澤進一 159~174

第32巻 第2・3号 (1980年12月)

3115 ビール産業の産業組織的特性について (2) 原豊 138~145

第33巻 第1号 (1981年6月)

3116	A Walrasian System of Money and Transaction Costs	松下 正弘	60~71
3117	Some Passing Notes on Spatial Pricing	太田 浩	72~81
第33巻 第2号 (1981年10月)			
3118	臨空産業の立地について (I)	西岡 久雄	109~134
第33巻 第3号 (1981年12月)			
3119	The Simplest Model of General Equilibrium	太田 浩 片岡 晴雄	116~132
第33巻 第4号 (1982年3月)			
3120	米国の年齢差別禁止法の経済分析	大谷 登士雄	78~118
第34巻 第1号 (1982年6月)			
3121	税関関数について	平澤 典男	60~74
3122	ソ連経済の成長を阻む要因について	吉田 靖彦	75~102
第34巻 第2号 (1982年10月)			
3123	企業の経営方針と立地配置 (I)	西岡 久雄	82~94
3124	An Exact Test of the Independence of Error Terms in a Linear Regression Model —Correct Procedure of the Henshaw Approximation—	福原文雄	95~106
第35巻 第1号 (1983年6月)			
3125	経済学史の成立と展開 —通史文献の歴史的動向—	石井 信之	53~73
3126	小型航空, および臨海工業 —臨空産業の立地について (II) —	西岡 久雄	74~102
第35巻 第2号 (1983年10月)			
3127	臨空産業および臨空工業 —臨空産業の立地について (III) —	西岡 久雄	105~133
第35巻 第3号 (1983年12月)			
3128	訪米記—アメリカ: 1983年夏—	米澤 義衛	145~159
3129	ソ連第11次5カ年計画の動向について (I)	吉田 靖彦	160~165
第35巻 第4号 (1984年3月)			
3130	インドにおける間接税の負担配分	深澤 實	78~102
3131	東欧諸国の経済成長と技術進歩 (1) —ハンガリー経済の場合—	吉田 靖彦	103~121

第36卷 第2・3・4号 青山学院創立110周年記念論文集（1985年2月）

- 3132 『間接課税調査委員会報告書，第1部，1977年10月，
インド政府大蔵省（歳入局）』
—とくに連邦消費税の合理化問題について— 深 澤 實 361～390
- 3133 「経済学の危機」に関する覚書き 原 豊 391～402
- 3134 アダム・スミス新研究序論 石 井 信 之 403～420
—『グラスゴウ版アダム・スミス著作・書簡集』に
よる研究の出発点の基礎づけ—
- 3135 再論： Irmina von Oeren について 石 川 操 421～440
—Irmina 一族の系譜関係とその政治的，社会経済
的地位—
- 3136 甲斐の国の塩 金 丸 平 八 441～482
- 3137 自己双対需要関数 松 下 正 弘 483～493
- 3138 小農と適正規模考 野 村 義 男 495～506

第37卷 第1号（1985年6月）

- 3139 地域開発と小型航空 西 岡 久 雄 106～132
- 3140 三和良一教授の書評に答える 田 島 恵 児 133～140
- 3141 ソ連経済は集約的発展の軌道に乗ったか 吉 田 靖 彦 141～176

第37卷 第3号（1985年12月）

- 3142 『間接課税調査委員会報告書，第1部，1977年10月，
インド政府大蔵省（歳入局）』
—関税，売上税および入市税の合理化と，間接税
構造の長期改革問題について— 深 澤 實 94～121
- 3143 Logit モデルの確率論的構成 福 原 文 雄 122～133
- 3144 観光問題への空間的接近の若干の改良案 西 岡 久 雄 134～142
—特に除野信道教授の著書に関連して—
- 3145 最近における時系列解析論の一展開（1） 鈴 木 栄 一 143～158

第37卷 第4号（1986年3月）

- 3146 総供給曲線と実質残高効果 大 住 栄 治 131～157
黄 色 光 央
- 3147 最近における時系列解析論の一展開（2） 鈴 木 栄 一 158～190

第38卷 第1号（1986年6月）

- 3148 経済立地論，及び空間経済学と，「非空間経済学」に
関する1考察 中 込 正 樹 62～83
—空間概念の導入と理論的パラダイムの変更につ
いて—
- 3149 工業立地への企業行動論的観点からのアプローチ 西 岡 久 雄 84～103
—米英での研究と論争をめぐって— 富 樫 幸 一

3150	企業における稼働率の決定に関する覚え書	大住 栄治 104~117 仙波 憲一 長 橋 透
3151	アダム・スミスの思想的全体像への模索 (I) —最近のアダム・スミス研究三著をめぐって—	石井 信之 118~125
第38巻 第2号 (1986年10月)		
3152	ASEAN の間接課税 (I) —とくに売上税と個別消費税の特徴と構造について—	深 澤 實 153~186
第38巻 第3号 (1986年12月)		
3153	Todaro の都市における失業分析について —クリティカルサーベイ—	中 込 正 樹 76~83
3154	ASEAN の間接課税 (II)	深 澤 實 84~112
第38巻 第4号 (1987年3月)		
3155	チームにおける労働誘因とモニター制について	平 澤 典 男 66~86
3156	秘匿サービスに関する一考察	松 下 正 弘 87~106
3157	人工衛星データ利用と費用便益分析 — (文献収集調査の概要) —	鈴 木 栄 一 107~137
3158	米国オレゴン州の概況 —ポートランド地域の工業立地条件等について (1) —	西 岡 久 雄 138~160
第39巻 第1号 (1987年6月)		
3159	マクロ経済学におけるケインジアンとシカゴ学派的地平を超えて	中 込 正 樹 109~121
3160	空港の地域的経済効果の測定 —バトラー=キヤーナン報告について—	西 岡 久 雄 122~142
3161	流動性と金融システム (その1)	高 橋 俊 治 143~150
第39巻 第2号 (1987年10月)		
3162	A Note on Rational Expectations and Feedback Macro Policies —Under Government Budget Restraints—	中 込 正 樹 100~109
3163	ポートランド地域の工業立地条件等について (2) — [付録] GA 空港の地域経済的効果の算定法 (シー=ブルゴー報告) —	西 岡 久 雄 110~132
3164	流動性と金融システム (その2)	高 橋 俊 治 133~146
第39巻 第3号 (1987年12月)		
3165	効率と公正と —「法と経済学」による一つの覚書—	熊 谷 彰 矩 44~63

3166	フロリダ州におけるゼネラル航空の経済的効果の分析 ーマクレオド他による報告の紹介ー	西岡久雄	64~75
3167	日本の先端的技術の向上と輸出の1側面について	鈴木栄一	76~85
3168	ASEAN の間接課税 (Ⅲ) ーとくに外国貿易税についてー	深澤實	86~117

第39巻 第4号 (1988年3月)

3169	予測の経済的価値と最適利用のノート	鈴木栄一	80~95
3170	リプレイスメント・レイシオ	牛丸聡	96~111
3171	オレゴンおよびポートランドの経済 ーポートランド地域の工業立地条件等について (3) ー	西岡久雄	112~127

第40巻 第1号 (1988年6月)

3172	公的年金に関するノート	牛丸聡	49~76
3173	ポートランド地域の工業立地と日米貿易摩擦 ーポートランド地域の工業立地条件等について (4), 完ー	西岡久雄	77~95

第40巻 第2号 (1988年10月)

3174	(無羨望) 公平性理論の展望 (I)	平澤典男	91~109
3175	公的年金と貯蓄	牛丸聡	110~125

第40巻 第3号 (1988年12月)

3176	中古車の下取時と市場出荷時における走行距離の有意 差の検証	福原文雄	22~37
3177	Spatial Competition Under Demand Uncertainty	中込正樹	38~46
3178	The Long-run Effects of Job Creation on Layoff and Performance of the Labor Market ーA Theoretical Examination of the Keynesian and the New Classical Policy Views in a Generalized Modelー	中込正樹	47~58
3179	STOL 空港の経済的効果 ー特にナザレス=トプリス報告についてー	西岡久雄	59~73
3180	連立偏微分方程式の数値シミュレーションとスーパー コンピュータ	鈴木栄一	74~84
3181	公的年金と貯蓄	牛丸聡	85~111

第40巻 第4号 (1989年3月)

3182	S. クノッセンのエクサイズ擁護論 ー開発途上国における消費課税問題ー	深澤實	61~91
3183	公的年金・社会保障の所得再分配効果	牛丸聡	92~112
3184	行政処分による国有林野下戻の一例 (1)	金丸平八	113~122

第41巻 第1号 (1989年6月)

- 3185 On Spatial Equilibria with the Difference in Locations between Producers and Retail Stores 中 込 正 樹 54~62
- 3186 金融システムと公社債流通市場 (1965-87年) 高 橋 俊 治 63~82
- 3187 高齢者介護に関するノート
—「介護の経済分析」への序章— 牛 丸 聡 83~117
- 3188 Domestic Adjustment and Its Performance
—Specificity in the Adjustment Process— 米 澤 義 衛 118~137

第41巻 第2号 (1989年10月)

- 3189 生産性関数と日本の産業別総合要素生産性の計測 福 原 文 雄 38~54
- 3190 地方公共団体の階層別比重とその要因
—都道府県と市町村の実証研究を通して— 堀 場 勇 夫 55~74
- 3191 公社債のインターディーラー市場
—その沿革と機能— 高 橋 俊 治 75~93
- 3192 企業年金に関するノート
—「厚生年金基金」と「税制適格退職年金」との整合性を求めて— 牛 丸 聡 94~115

第41巻 第3号 (1989年12月)

- 3193 2つの総合要素生産性関数とそれによる産業別生産性の比較 福 原 文 雄 1~16
- 3194 地域的労働市場とフィリップスカーブ 中 込 正 樹 17~51
- 3195 日本中小製造企業の海外進出とその誘致 西 岡 久 雄 52~61
- 3196 短期経済計画問題の数理的構造 大 住 圭 介 62~85
- 3197 経済学部特殊講義に関する若干の話題 鈴 木 栄 一 86~102
- 3198 S. クノッセンのエクサイズ擁護論 (II)
—とくに公平, 効率性, および誘因効果について— 深 澤 實 103~133

第41巻 第4号 (1990年3月)

- 3199 アダム・スミス思想の全体像
—モーリス・ブラウン著『アダム・スミスの経済学』をめぐって— 石 井 信 之 40~58
- 3200 ネオ・ハイテクとサバイバルとの交錯時代に備えて 西 岡 久 雄 59~70
- 3201 リモート・センシング技術と資源の探査・開発 鈴 木 栄 一 71~82
- 3202 世代間公正に関するノート 牛 丸 聡 83~101

第42巻 第1・2号 大木金次郎院長・理事長追悼号 (1990年8月)

- 3203 総合要素生産性モデルと日本の産業別総合要素生産性
—生産勘定からの接近— 福 原 文 雄 115~138
- 3204 年金の世代間公平性について
—人口変動とインフレ調整に関して— 平 澤 典 男 139~154

3205	英国における金融制度改革	小林 襄 治	155~188
3206	流通と市場構造の経済分析序論	中込 正 樹	189~211
3207	地域科学 (Regional Science) とはなにか	西岡 久 雄	212~241
3208	人的資本と経済発展 —Uzawa-Lucas 体系の検討—	大住 圭 介	242~264
3209	高度技術化社会の一断面	鈴木 栄 一	265~280
3210	昭和40年代における国債の価格支持政策について	高橋 俊 治	281~305

第42巻 第3号 (1990年12月)

3211	地方財政構造と時系列分析 —Granger の因果関係分析を中心として—	堀場 勇 夫	64~78
3212	「排出権」市場に関する若干の覚書	熊谷 彰 矩	79~96
3213	流通と市場構造の経済分析序論 (再考)	中込 正 樹	97~109
3214	最近における科学技術の日欧交流について	鈴木 栄 一	110~122
3215	S. クノッセンのエクサイズ擁護論 (Ⅲ) —財政専売について—	深 澤 實	123~147
3216	天保7年に発生した甲州騒動の研究 —序章 (1) —	金丸 平 八	148~164

第42巻 第4号 (1991年3月)

3217	1980年代における英国マネーフローの変化	小林 襄 治	94~140
3218	ダイナミック・ゲームの理論と均衡概念 —展開型のゲームとシグナリング・ゲームについて—	大住 圭 介	141~179
3219	対立解決とウェーバー立地論 —立地論の遊戯的教育 (その1) —	西岡 久 雄	180~189
3220	気候温暖化と計測, モデルの諸問題 (その1) —グランド・トルースと人工衛星—	鈴木 栄 一	190~214

第43巻 第1号 (1991年6月)

3221	マクロ的数量調整再解釈	平澤 典 男	51~62
3222	都市周辺地域における不完全競争と価格の硬直性について	中込 正 樹	63~84
3223	都市周辺地域における競争的市場と不完全競争市場の理論分析 —理論モデルの拡張をめざして—	中込 正 樹	85~116
3224	気候温暖化と計測, モデルの諸問題 (その2) —モデルと諸計測の誤差, 信頼性—	鈴木 栄 一	117~140

第43巻 第2号 (1991年10月)

3225	英国の公的年金	牛丸 聡	52~73
3226	テクノアメニティ社会とは (その1)	鈴木 栄 一	74~100

第43巻 第3号 (1991年12月)

- | | | | |
|------|--------------------------------------|------|--------|
| 3227 | 中心地理論のミクロ経済学的基礎について | 中込正樹 | 59~79 |
| 3228 | S. クノッセンのエクサイズ擁護論 (IV)
—エクサイズの評価— | 深澤實 | 80~97 |
| 3229 | テクノアメニティ社会とは (その2) | 鈴木栄一 | 98~127 |

第43巻 第4号 (1992年3月)

- | | | | |
|------|--|------|--------|
| 3230 | エミッション・トレーディングに関する若干の考察 | 熊谷彰矩 | 57~71 |
| 3231 | 非対称情報のもとでの経済計画に関するノート | 大住圭介 | 72~98 |
| 3232 | 日本列島改造論議と工業再配置 (その1)
—1970年代頃の立地・地域政策 (II)— | 西岡久雄 | 99~112 |

第44巻 第1号 (1992年6月)

- | | | | |
|------|---|------|--------|
| 3233 | 地域的市場構造と国際貿易についての一考察 | 中込正樹 | 59~92 |
| 3234 | Independence of National Economy and
Rationalization of Industry
—The Japanese Experience in the Postwar
Years— (Part I) | 米澤義衛 | 93~121 |

第44巻 第2号 (1992年10月)

- | | | | |
|------|--|------|--------|
| 3235 | 国際貿易の空間理論的アプローチについて | 中込正樹 | 62~83 |
| 3236 | 日本列島改造論議と工業再配置 (その2)
—1970年代頃の立地・地域政策 (III)— | 西岡久雄 | 84~91 |
| 3237 | Independence of National Economy and
Rationalization of Industry
—The Japanese Experience in the Postwar
Years— (Part II) | 米澤義衛 | 92~120 |

第44巻 第3号 田島恵児名誉教授記念特集号 (1992年12月)

- | | | | |
|------|--|------|---------|
| 3238 | 日本列島改造論議と工業再配置 (その3)
—1970年代頃の立地・地域政策 (IV)— | 西岡久雄 | 218~239 |
|------|--|------|---------|

第44巻 第4号 鈴木栄一名誉教授記念特集号 (1993年3月)

- | | | | |
|------|---------------------------|------|---------|
| 3239 | 観光地域の評価と観光施設の立地決定 | 西岡久雄 | 107~131 |
| 3240 | 履歴現象とオプション価格付け理論に関する研究ノート | 大瀧雅之 | 132~156 |
| 3241 | 費用と負担 | 牛丸聡 | 157~177 |

第45巻 第1号 (1993年6月)

- | | | | |
|------|-------------------------------------|------|--------|
| 3242 | 観光経済学の構想について | 西岡久雄 | 63~88 |
| 3243 | 国際貿易と流通市場におけるブランド間競争および垂直的取引制約 (前半) | 中込正樹 | 90~116 |

第45巻 第2号 (1993年10月)

3244	観光, 環境, および開発	西岡久雄	53~81
3245	国際貿易と流通市場におけるブランド間競争および垂直的取引制約 (後半)	中込正樹	82~106

第45巻 第3号 高橋俊治助教授追悼号 (1993年12月)

3246	インドのエクサイズ	深澤實	269~296
3247	経済学説史とノーベル経済学賞 (1)	石井信之	297~310

第46巻 第1・2・3号 青山学院創立120周年記念論文集 (1994年12月)

3248	流通, 雇用及び経済成長	中込正樹	157~186
3249	The Penn World Table (PWT) と日本経済	米澤義衛	187~200

第46巻 第4号 西岡久雄名誉教授記念特集号 (1995年3月)

3250	産業空洞化と国際的工間分業	中込正樹	224~240
3251	Effects of Zone Delineation on the Results of a Destination Choice Model: A Case Study of a Model That Incorporates the Effect of Multiple Stops	高橋重雄	241~250
3252	経済学説史とノーベル経済学賞 (2)	石井信之	251~265

第47巻 第1号 (1995年6月)

3253	「強いフラン政策」の発展 —ヨーロッパ通貨統合からみた独仏関係—	中川辰洋	71~86
3254	医療問題の検討 —広井良典『医療の経済学』を読んで—	牛丸聡	87~106

第47巻 第2号 (1995年10月)

3255	EMUとイギリスの戦略 —「シティ・リサーチ・プロジェクト最終報告」を中心にして—	中川辰洋	68~84
3256	都市における失業と地域的構造失業	中込正樹	85~100
3257	公的・私的福祉サービスの共存 —需要サイドからの理論的考察—	矢吹初	101~127
3258	介護保険 (I)	牛丸聡	128~158

第47巻 第3号 深澤實名誉教授記念特集号 (1995年12月)

3259	ベアリングズの崩壊	小林襄治	117~144
3260	ヨーロッパ共通通貨創出のシナリオ —欧州委員会レポートを中心にして—	中川辰洋	145~168
3261	介護保険 (II)	牛丸聡	169~201

第47巻 第4号 (1996年3月)

3262	円相場をめぐる諸問題	中澤進一 平保	91~104
------	------------	------------	--------

3263	1995年・私	牛丸 聡	105~116
3264	介護保険 (Ⅲ)	牛丸 聡	117~150

第48巻 第1号 (1996年6月)

3265	地域経済圏の発展と停滞に関する理論的研究ノート	中込 正樹	139~149
3266	地域経済圏における「不均等発展」の理論分析 (試論)	中込 正樹	151~176

第48巻 第2号 (1996年10月)

3267	ハイエク的経済観からの新しい開発経済理論をめざして	中込 正樹	77~99
3268	施設福祉と在宅福祉の私的供給の可能性	矢吹 初	101~133
3269	経済学説史とノーベル経済学賞 (3)	石井 信之	135~146

第48巻 第4号 (1997年3月)

3270	ハリエット・B・ストウ『アンクル・トムの小屋』の 経済的背景	平出 尚道	137~147
3271	保険としての老人福祉 —市場の失敗と政府介入の可能性—	矢吹 初	149~174

第49巻 第1号 (1997年6月)

3272	競争型同質財複占 (寡占) 市場下の均衡価格形成に関する 覚え書	榎本 弘	67~86
3273	新しい分業構造の理論モデルをめざして	中込 正樹	87~103

第49巻 第2号 (1997年10月)

3274	Retail Prices and the Countervailing Power in the Spatial Economy	中込 正樹	61~74
------	--	-------	-------

第49巻 第3号 (1997年12月)

3275	近代的部門の伝統的経済要因	中込 正樹	101~114
------	---------------	-------	---------

第49巻 第4号 (1998年3月)

3276	欧州におけるポーランド経済 (I) —国家財政と欧州回帰の観点から—	日向寺 純雄 木村 武雄	73~112
------	---------------------------------------	-----------------	--------

第50巻 第1号 (1998年6月)

3277	年齢階級別の都市内人口移動パターンとその変化 —四日市市の事例—	井上 孝 村山 祐司	61~76
3278	欧州におけるポーランド経済 (II) —国家財政と欧州回帰の観点から—	日向寺 純雄 木村 武雄	77~115

第50巻 第2号 (1998年10月)

3279	非営利セクターの経済学：批判	中込 正樹	83~92
------	----------------	-------	-------

第50巻 第3号 (1998年12月)

- 3280 19世紀ドイツの通貨統一と EMU
—H・ジェームズの所説を中心に— 中川辰洋 97~128

第50巻 第4号 原豊名誉教授記念特集号 (1999年3月)

- 3281 17世紀英国金融史の一考察
—鑄貨供給と財政— 小林襄治 99~125
- 3282 政治と中央銀行
—政治学からみた中央銀行自立化考— 中川辰洋 127~156
- 3283 International Trade between Countries with
Different Retail Markets: A Note 中込正樹 157~163
- 3284 コーホート・データによる日本の家計部門における金
融資産残高および負債残高の推移
—『貯蓄動向調査』の利用— 成田淳司 165~192
- 3285 租税競争と時間整合性 矢吹初 193~213
- 3286 企業業績予想情報の差別化とその評価 米澤義衛 215~234

第51巻 第1・2・3号 経済学部設立50周年記念論文集 (1999年12月)

- 3287 Note on Asymptotically Unidentifiable Likelihoods 後藤文廣 297~312
- 3288 マクロ経済学の再検討
—新しいケインジアンとポスト・ケインジアンを
めぐって— 中込正樹 313~341

第51巻 第4号 石川操名誉教授記念特集号 (2000年3月)

- 3289 パーミット政策の理論と現実 熊谷彰矩 141~170
- 3290 ユーロシステムの1年
—金融政策の成果と課題— 中川辰洋 171~207
- 3291 ケインズの認識論的哲学 中込正樹 209~230
- 3292 アメリカ合衆国ハイプレーンズ地域とその周辺における
日本系企業の立地について 高橋重雄 231~248

第52巻 第1号 (2000年6月)

- 3293 ギリシャのユーロ圏加入の展望
—「経済収束プログラム」の展開と成果— 中川辰洋 55~81
- 3294 「貧困の経済学」と「経済学の貧困」 中込正樹 83~106

第52巻 第2号 日向寺純雄名誉教授記念特集号 (2000年9月)

- 3295 NPO、労働強度、および潜在能力 中込正樹 151~173
- 3296 負債契約に関する研究ノート 清水克俊 175~206
- 3297 政府構造のメカニズムデザイン 矢吹初 207~230

第52巻 第3号 榎本弘名誉教授記念特集号 (2000年12月)

- 3298 新興市場における機関投資家育成 深川由起子 133~150
 —韓国経験—
 3299 資本の不可分性と租税競争 矢吹初 151~177

第52巻 第4号 石畑良太郎名誉教授記念特集号 (2001年3月)

- 3300 A Note on Petroleum Reserve Auctions 馬場弓子 223~235
 3301 不確実性におけるナイト的系譜とケインズの系譜 藤井賢治 237~258
 3302 自由主義・個人主義と公共哲学 中込正樹 259~285
 —「リベラリスト・コミュニタリアン論争」の批判的
 検討—

第53巻 第1号 (2001年6月)

- 3303 International Transfers and Environmental Quality: 馬場弓子 71~85
 An Example 吉岡忠昭
 3304 貨幣の哲学:再考 中込正樹 87~116

第53巻 第2号 (2001年9月)

- 3305 財政投融资制度の経済分析 宮原勝一 53~62
 3306 インフレ目標はECBの説明責任を強化するか 中川辰洋 63~95
 —P・ボフィンガーの所説を中心にして—
 3307 公共性の意味論的分析 中込正樹 97~136
 3308 アカウンタビリティと地方政府 矢吹初 137~164

第53巻 第3号 (2001年12月)

- 3309 民間資本の対新興市場還流強化 深川由起子 35~58
 —ポスト通貨危機・東アジアに残された課題—
 3310 なぜ地域通貨問題を重要と考えるか 中込正樹 59~98
 3311 租税回避行動と最適所得税政策 吉岡祐次 99~116
 —非線型最適所得税モデルによる一考察—

第53巻 第4号 (2002年3月)

- 3312 コンピュータを利用した英語教育・世界観教育 小張敬之 51~68
 —Virtual Realityの応用—
 3313 制限された所得再分配と人口移動 矢吹初 69~92
 3314 経済思想史の諸類型(1) 石井信之 93~106
 —ダウドとスコーセンの通史新著をめぐって—

第54巻 第1号 (2002年6月)

- 3315 NP0と「遊び」の哲学 中込正樹 49~82
 —自律性・内発性の認識論的分析—

第54巻 第2号 (2002年9月)

- 3316 経済思想史通史の方法的諸問題 石井信之 65~90
 —R. E. バックハウスの新著をめぐって—
 3317 競争の中の病理 中込正樹 91~125
 —自由の喪失—

第54巻 第3号 大谷登士雄名誉教授記念特集号 (2002年12月)

- 3318 排出権取引に関する若干の覚書
—アメリカの事例から— 熊谷彰矩 287~316
- 3319 グローバル化の中の自由と内発的發展 中込正樹 317~341
- 3320 包括的所得税に関する理論的な一考察
—最適非線形課税理論の観点から— 吉岡祐次 343~351

第54巻 第4号 大住栄治名誉教授記念特集号 (2003年3月)

- 3321 集権主義と州権主義
—アンティベラム期における再検討— 平出尚道 141~152
- 3322 戦略的行動原理選択問題
—利他主義の戦略的基礎— 平澤典男 153~167
- 3323 地方分権と所得再分配 堀場勇夫 169~193
矢吹初
- 3324 学歴達成における階層・地域間格差と入試類型
—入試政策への含意— 松尾孝一 195~227
- 3325 元型論のレゾンデートル
—不確実性への新たなアプローチ— 中込正樹 229~244
- 3326 シカゴ学派からロサンゼルス学派へ
—都市研究におけるパラダイムの変化について— 高橋重雄 245~263
- 3327 地域通貨に関する一試論 内野耕太郎 265~290
—起源、法的性質、経済政策—
- 3328 租税回避行動に関する理論的な一考察
—節税行動と脱税行動の複合モデル— 吉岡祐次 291~318

第55巻 第1号 (2003年6月)

- 3329 現代フランス学生の就職事情
—インターンシップを中心に— 中川辰洋 33~52
- 3330 ケインズ「利子生活者安楽死問題」の失敗的成功 中込正樹 53~78
- 3331 地方交付税の財政調整効果(I)
—時間バイアスの検証— 矢吹初 79~104
高橋朋一

第55巻 第2号 (2003年9月)

- 3332 「日常性」の経済哲学 中込正樹 45~68
- 3333 地方交付税の財政調整効果(II)
—時間バイアスの検証— 矢吹初 69~100
高橋朋一

第55巻 第3号 (2003年12月)

- 3334 ブレア政権下のイギリスにおける労働組合の組織化戦略
—公共部門を中心に— 松尾孝一 51~71
- 3335 「ハゲタカ投資家」の経済学 中込正樹 73~108

第55巻 第4号 三和良一名誉教授記念特集号 (2004年3月)

- 3336 A Note on the Economics of Post Modern
Manufacturing 馬場弓子 169~180
- 3337 コンジェクチュア均衡と学習のジレンマ 平澤典男 181~193

3338 米国非営利団体税制の経済分析と制度の実態 内野耕太郎 195~216

第56巻 第1号 (2004年6月)

3339 Economic Analysis of Program Loans:
The Case of the Asian Development Bank 藤村学 29~60

3340 標準税率の経済効果 矢吹初 61~91
—事後的救済モデルを利用して—

第56巻 第2号 (2004年9月)

3341 ゆがめられた競争 中込正樹 39~59
—「いじめ」問題から学ぶもの—

第56巻 第3号 (2004年12月)

3342 GISを用いた郵便局の配置分析 三條和博 65~90
高橋朋一

3343 ヨーロッパ銀行セクターの再編成(I) 中川辰洋 91~120

第56巻 第4号 (2005年3月)

3344 経済社会における逸脱としての悪と「自由」の復活 中込正樹 73~95
—意味論的経済哲学として—

3345 ヨーロッパ銀行セクターの再編成(II) 中川辰洋 97~125

第57巻 第1号 (2005年6月)

3346 Relative Economic Decline and Unrealized 39~68
Demographic Edmonds
Opportunity in the Philippines Manabu Fujimura

3347 資本の移動可能性と租税競争の非効率性 矢吹初 69~98

第57巻 第2号 (2005年9月)

3348 公的資金の限界費用と限界超過負担の関係 吉岡祐次 67~92
—租税制度の歪みを測定する観点から—

第57巻 第3号 (2005年12月)

3349 経済学における認知問題の方法論的再検討：序論 中込正樹 133~148

第57巻 第4号 (2006年3月)

3350 フランス貯蓄銀行グループの構造と変容 中川辰洋 81~107
—金融コングロマリット化する協同組合銀行—

3351 交付税の財政調整の検討 矢吹初 109~143
高橋朋一

3352 日米経済成長のパターンとメカニズム 米澤義衛 145~169
—「学習効果」なき日本経済! ?—

第58巻 第1号 (2006年6月)

3353 イタリア銀行M&Aスキャンダル 中川辰洋 51~88
—2005年3月~2006年2月—

3354	GISを用いた空間分析による郵便局と民間金融機関の競合性の検証	高橋 朋一	89~105
第58巻 第2号 (2006年9月)			
3355	越境道路インフラの経済効果 —タイ・ラオス・中国雲南省を結ぶ南北経済回廊の事例—	藤村 学	47~74
第58巻 第3号 (2006年12月)			
3356	行動経済学 —批判的展望—	中込 正樹	87~111
第58巻 第4号 熊谷彰矩名誉教授記念特集号 (2007年3月)			
3357	不確実性と競争の認知論的経済学	中込 正樹	115~133
第59巻 第1号 (2007年6月)			
3358	リスク社会の経済学：序説	中込 正樹	73~87
3359	追試 日米経済成長のパターンとメカニズム —「学習効果」なき日本経済！？—	米澤 義衛	89~103
第59巻 第2号 (2007年9月)			
3360	日本の家計部門における金融資産蓄積の推移とその形態 —1990年から2006年まで—	成田 淳司	71~102

IV 調査・資料・資料紹介

第1巻 第1号 (1949年11月)			
4000	ヘレニズム期アレキサンドリアにおける文献考証学の性格について —基督教歴史学成立史研究の一部— (その序)	弓 削 達	81~93
第2巻 第2号 (1951年7月)			
4001	アインハルト「カール大王伝」の文献的性格に関する若干の問題	日 臺 砲 一	43~67

第4巻 第1号 (1952年6月)

4002 人事管理に関する文献目録

櫻井 信行 75~92

第5巻 第4号 (1954年3月)

4003 「変動する企業利益概念」を中心として

土田 三千雄 343~363

第9巻 第4号 (1958年3月)

4004 「見せ金」による株金払込の効力と払込保管金の返還時期

裏 得 郎 185~192

第11巻 第1号 (1959年6月)

4005 アレグザンダー・ハミルトン「製造工業に関する報告書」の基礎資料について(2)

田 島 恵 児 58~64
山 田 良 治
気 賀 健 生

第12巻 第1号 (1960年6月)

4006 アレグザンダー・ハミルトン「製造工業に関する報告書」の基礎資料について(3)

田 島 恵 児 143~168
気 賀 健 生

第12巻 第3号 (1960年12月)

4007 アレグザンダー・ハミルトン「製造工業に関する報告書」の基礎資料について(4)

田 島 恵 児 139~159
気 賀 健 生

4008 「宗門御改并人別帳」についての覚書
—信濃国諏訪郡橋原村—

金 丸 平 八 160~171
成 瀬 久 富

第16巻 第3号 (1965年2月)

4009 大小切騒動餘聞
—明治五年山梨県下に発生した農民騒動の記録—

金 丸 平 八 93~109

4010 ハッテライト派の絶対無抵抗に関する一資料

榊 原 巖 111~133

第17巻 第2号 (1965年9月)

4011 ジョン・スチュアルト・ミルの全集

伊 藤 久 秋 151~166

第18巻 第2号 (1966年10月)

4012 フッタライト原典篇(二)
—1557年、ライン川のウォルムスでフッタライトと呼ばれている兄弟たちに対してなされた非難に対する抗弁—

榊 原 巖 76~98

第19巻 第1号 (1967年6月)

4013 官業払下に関する試論
—いわゆる「興業費」に就いて、長崎造船所の場合—

金 丸 平 八 87~100

第20巻 第3号 (1968年12月)

4014 荒廃地復舊事業の経緯とその意義

金丸平八 67~87

第20巻 第4号 (1969年3月)

4015 院内・阿仁兩鑛山の拂下代金に関する覚書

金丸平八 60~72

第21巻 第3号 (1969年12月)

4016 John Colman 考

金丸平八 50~62
三浦眞理

第22巻 第1号 (1970年6月)

4017 ハンス・プラーニッツ「ケルンと北フランス及びベルギー諸都市」

佐々木克巳 66~84

第23巻 第1号 (1971年6月)

4018 Leonard Horner: A Portrait of an Inspector of Factories, by Bernice Martin 紹介

石畑良太郎 133~144

第24巻 第1号 (1972年6月)

4019 Rev. Andrew Burnaby, A.M. Travels through the Middle Settlements in North-America.
—In the years 1759 and 1760. With observations upon the state of the colonies. (1) —

金丸平八 96~117
三浦眞理

第24巻 第3号 (1972年12月)

4020 世界経済のマーシャリアンク

柴田敬 44~72

4021 Rev. Andrew Burnaby, A.M. Travels through the Middle Settlements in North-America.
—In the years 1759 and 1760. With observations upon the state of the colonies. — (2)

公文園子 73~86
金丸平八
三浦眞理

第27巻 第4号 (1976年3月)

4022 ハミルトン「製造工業に関する報告書」のコックス「草稿」

田島恵児 101~113

第28巻 第4号 (1977年3月)

4023 Where is the City Going?
—A conversation with merchant bankers in London—

天利長三 79~104

第29巻 第2号 (1977年10月)

4024 林業史に関する二つの資料集によせて 金丸平八 123~129

第31巻 第4号 天利長三名誉教授記念特集号 (1980年3月)

4025 第1合衆国銀行に関する新資料について 田島恵児 147~157

第32巻 第1号 (1980年6月)

4026 第1合衆国銀行(本店)貸借対照表(1792-1800) 田島恵児 49~97

4027 「杉浦讓全集」を読む(1) 金丸平八 98~105

第32巻 第2・3号 (1980年12月)

4028 「杉浦讓全集」を読む(2) 金丸平八 126~137

第32巻 第4号 (1981年3月)

4029 小野川, 滝川水論書控 金丸平八 48~91

第33巻 第1号 (1981年6月)

4030 山水論記 金丸平八 45~59
—甲斐国長沢村と村山北割村外八ヶ村との水を繞る
争論—

第35巻 第1号 (1983年6月)

4031 [山口縣]山林改租人民心得書 金丸平八 40~52

第35巻 第4号 (1984年3月)

4032 OECDの研究・技術および地域政策に関する研究集会
について(I) 西岡久雄 60~77

第36巻 第1号 (1984年9月)

4033 『盛岡藩錢札資料』解題 竹内一男 162~186

4034 天保7年に発生した, 所謂「甲州騒動」に関する一つ
の記録(1) 金丸平八 187~216
都通憲三郎

第37巻 第1号 (1985年6月)

4035 天保7年に発生した, 所謂「甲州騒動」に関する一つ
の記録(2) 金丸平八 61~105
都通憲三郎

第37巻 第2号 (1985年10月)

4036 天保7年に発生した, 所謂「甲州騒動」に関する一つ
の記録(3) 金丸平八 112~151
都通憲三郎

第37巻 第4号 (1986年3月)

4037 天保7年に発生した, 所謂「甲州騒動」に関する一つ
の記録(4) 金丸平八 79~130
都通憲三郎

第38巻 第1号 (1986年6月)			
4038	天保7年に発生した、所謂「甲州騒動」に関する一つの記録 (5)	金丸平八 都通憲三郎	40~61
第38巻 第3号 (1986年12月)			
4039	「凶荒説」について	金丸平八	62~75
第43巻 第1号 (1991年6月)			
4040	Physical Characteristics of Japan —The Land and People in Japan: Part 1—	西岡久雄	29~50
第43巻 第2号 (1991年10月)			
4041	Some Aspects of Japanese History, Society and Economy —The Land and People in Japan: Part 2—	西岡久雄	19~51
第43巻 第3号 (1991年12月)			
4042	James O. Wettereau, <i>Statistical Records of the Bank of the United States</i>	田島恵児	55~58
第44巻 第2号 (1992年10月)			
4043	米国における電子情報サービスの実態 (1)	美添泰人	32~61
第44巻 第4号 鈴木栄一名誉教授記念特集号 (1993年3月)			
4044	米国における電子情報サービスの実態 (2)	美添泰人	77~106
第45巻 第3号 高橋俊治助教授追悼号 (1993年12月)			
4045	サンフランシスコの住民, 交通, および地震	西岡久雄	236~268
第47巻 第4号 (1996年3月)			
4046	経済学部 LAN	本郷茂	151~159
第51巻 第1・2・3号 経済学部設立50周年記念論文集 (1999年12月)			
4047	団体定期保険普通保険約款の系譜 —「遺族保障」・「企業の受取り禁止」を明記—	本間照光	343~375
第52巻 第4号 石畑良太郎名誉教授記念特集号 (2001年3月)			
4048	「他人の生命の保険契約」の沿革 —一貫する「被保険利益」—	本間照光	287~316
第54巻 第1号 (2002年6月)			
4049	序: 経済学部設立50周年記念シンポジウム	美添泰人	83~84
4050	アトキンソン教授講演紹介 “Economic Performance and Social Justice”	内野耕太郎	85~124

第54巻 第4号 大住栄治名誉教授記念特集号 (2003年3月)

4051 WTO加盟後の中国経済

三 和 良 一 319~344
逢 錦 聚

第55巻 第4号 三和良一名誉教授記念特集号 (2004年3月)

4052 最高裁判所への意見書:

団体保険の本旨 (遺族保障) と法理 (支分契約性)
—遺族保障が遺族保障となる問題解決—

本 間 照 光 217~244

4053 戦後型経済体制の形成をめぐって

杉 浦 勢 之 245~270
楊 棟 梁

第58巻 第4号 熊谷彰矩名誉教授記念特集号 (2007年3月)

4054 「進学校における進路指導と職業キャリア意識形成に
関するアンケート」集計結果

松 尾 孝 一 135~174

V 解題・翻訳

第9巻 第4号 (1958年3月)

5000 ハンス・ケルゼン著『議会主義の問題』

小 林 孝 輔 193~212

第12巻 第3号 (1960年12月)

5001 J. M. Keynes, *The End of Laissez-Faire*, 1926. の
解題と翻訳

山 田 良 治 172~212

第35巻 第4号 (1984年3月)

5002 アレグザンダー・ハミルトン「製造工業に関する報告
書」(1791年)
— (その1) —

田 島 恵 児 122~162

第36巻 第1号 (1984年9月)

5003 アレグザンダー・ハミルトン「製造工業に関する報告
書」(1791年)
— (その2) —

田 島 恵 児 217~245

第36卷 第2・3・4号 (1985年2月)

- 5004 アレグザンダー・ハミルトン「蒸溜酒税に関する報告書」(1790年) 田島恵児 507~527

第37卷 第1号 (1985年6月)

- 5005 アレグザンダー・ハミルトン「製造工業に関する報告書」(1791年) 田島恵児 177~221
— (その3) —

VI 書評・紹介

第1卷 第2号 (1950年6月)

- 6000 最近の英米の自由経済理論 阿部源一 72~95

第2卷 第1号 (1950年12月)

- 6001 栗野頼之祐著 弓削達 83~95
『出土史料によるギリシャ史の研究』

第2卷 第2号 (1951年7月)

- 6002 米国連邦準備制度の概要 櫻井欣一郎 68~90

第3卷 第2号 (1952年3月)

- 6003 利子率の役割 櫻井欣一郎 73~107
— オックスフォードの実態調査研究 —

- 6004 アカウンティング・コンヴェンション 関口重之 109~123
— ギルマンの基本的三慣習 —

第4卷 第3号 (1952年12月)

- 6005 四世紀末ロマ社会に関するアルフェルディの近著について 弓削達 235~257

第4卷 第4号 (1953年3月)

- 6006 ギルマンの低価主義 関口重之 325~347

第5卷 第1号 (1953年6月)

- 6007 鈴木安蔵著「憲法概論」を讀んで 小林孝輔 63~74
— 社会科学としての憲法学の主張 —

第5卷 第3号 (1953年12月)

- 6008 ギルマンの実現主義 関口重之 283~301

第5巻 第4号 (1954年3月)

- 6009 ジョン・スチュアルト・ミルとテイラー夫人 伊藤久秋 364~397
—F. A. Hayek, John Stuart Mill and Harriet
Taylor, 1951を読みて—

第6巻 第1号 (1954年6月)

- 6010 ベント・ハンセン著 塩野谷九十九・宇梶洋司訳 大木金次郎 85~93
『インフレーション—その型と政策—』

第6巻 第2・3号 青山学院創立80周年記念論文集 (1954年11月)

- 6011 独占に関する二著 伊藤久秋 311~343
—『独占性向』と『独占と競争』—

第7巻 第2号 (1955年9月)

- 6012 阿部源一著『社会化発展史論』 (同文館 1954年) 櫻井欣一郎 115~128

第8巻 第2号 (1956年9月)

- 6013 A. Lehnardt著 福岡博之 77~96
『フランス・ドイツ有限責任会社制度の若干点の比較研究』
—設立・清算手続を中心として—

第8巻 第3号 (1956年12月)

- 6014 需要論に関するヒックスの新著 伊藤久秋 113~132
6015 長谷川正安著『憲法判例の研究』 小林孝輔 133~135
6016 A・A・バーリ著『二十世紀資本主義革命』 裏得郎 136~145
桜井信行訳

第8巻 第4号 (1957年3月)

- 6017 Henry R. Wagner著『カリフォルニアに寄港した最初のアメリカ船』 金丸平八 107~120

第9巻 第1号 (1957年6月)

- 6018 佐藤功著『君主制の研究—比較憲法的研究—』 小林孝輔 123~126

第9巻 第2号 (1957年9月)

- 6019 伊藤久秋著『価格論』 大野弥曾次 71~74
6020 小林孝輔著『憲法学の本質』 星野安三郎 75~78
6021 A. H. ハンセン著『アメリカ経済』 櫻井欣一郎 79~89
6022 W. G. A・ラッセル著『棚卸資産の再評価』 関口重之 91~106
6023 「貨幣経済」の性格 山田良治 107~122
—三上隆三著『ケインズ経済学の構造』をよんで—

6024 A. レナール著『フランス・ドイツ有限責任会社制度の若干点の比較研究』 福岡博之 123~153

第9巻 第3号 (1957年12月)

6025 山崎利男「古典ヒンドゥー法の家産分割規定」 松井透 97~100

第10巻 第3号 (1958年12月)

6026 ワーメル著 米田・小林訳『古典派賃金理論の発展』 伊藤久秋 77~82

6027 高田保馬著『社会主義評論』 大野弥曾次 83~86

6028 長谷川元吉著『イギリス法学入門』 裏得郎 87~97

第10巻 第4号 (1959年3月)

6029 ジェイムス・H・シデラー著『農業恐慌』1919~1923 野村義男 75~79

第11巻 第1号 (1959年6月)

6030 *THE MERCHANTS AVIZO* 金丸平八 65~78

第11巻 第4号 (1960年3月)

6031 大木金次郎教授著『経済政策学原理』について 日下藤吾 111~116

第12巻 第3号 (1960年12月)

6032 天利長三著『貨幣経済と実物経済』 吉野昌甫 213~224

第13巻 第2号 (1961年9月)

6033 諸生産部門の地理的配置に関する一般原則と特殊事情 伊藤久秋 215~223

6034 櫻井信行教授の『人間関係と経営者』 石田武雄 225~226

第13巻 第4号 (1962年3月)

6035 W. F. ホワイト著 桜井信行教授訳『人間と組織』 岡本康雄 361~371

第14巻 第2号 (1962年9月)

6036 江沢譲爾著『産業立地論と地域分析』 伊藤久秋 209~211

第14巻 第3号 (1962年12月)

6037 財政理論におけるイタリアの伝統 日向寺純雄 177~194

第15巻 第2号 (1963年6月)

6038 西岡久雄著『立地と地域経済—経済立地政策論—』 伊藤久秋 79~82

第15巻 第4号 関口重之教授追悼号 (1964年3月)

6039 石田武雄著『経営組織の探究』(1) 富本繁 157~177

第16巻 第1号 (1964年7月)

- 6040 ハッテライト研究 榑 原 巖 119~150
 -原典篇(1)-
- 6041 桜井信行編『現代経営学入門』 坂 井 正 廣 151~154
- 6042 石田武雄著『経営組織の探究』(2) 富 本 繁 155~180

第16巻 第3号 (1965年2月)

- 6043 Taro Yamane, *Statistics: An Introductory Analysis* 山 村 耕 三 155~157

第18巻 第1号 (1966年6月)

- 6044 沖中恒幸『アメリカの銀行制度』, 1965 山 田 良 治 85~90

第18巻 第2号 (1966年10月)

- 6045 西岡久雄『地域間所得較差の研究』, 1966 伊 藤 善 市 124~132
- 6046 大野彌曾次『修正資本主義論』, 1966 大 木 金 次 郎 133~139

第18巻 第4号 (1967年3月)

- 6047 伊藤久秋・榎本弘訳『レバンソン・ソロン, 現代の価格理論-微視経済学入門-』 根 岸 隆 73~80

第19巻 第3号 (1967年12月)

- 6048 菱山泉『近代経済学の歴史』, 1965 大 野 弥 曾 次 135~142
- 6049 William Haber, ed., *Labor in a Changing America*, 1966 大 谷 登 士 雄 143~155

第19巻 第4号 (1968年3月)

- 6050 青木外志夫・西岡久雄編
 『伊藤久秋教授古稀・江澤讓爾教授還暦記念論文集
 -経済立地の理論と計画』, 1967 金 田 昌 司 83~90

第20巻 第1号 (1968年6月)

- 6051 E. M. フーヴァー著・西岡久雄訳『経済立地論』, 1968 伊 藤 久 秋 86~93

第20巻 第2号 (1968年10月)

- 6052 西岡久雄『経済立地の話』, 1968 青 木 外 志 夫 101~104

第20巻 第4号 (1969年3月)

- 6053 森田優三著『統計数理入門』 石 渡 茂 117~119

第21巻 第3号 (1969年12月)

- 6054 A. L. Macfie, *The Individual in Society, Papers on Adam Smith*, 1967 石 井 信 之 114~118

第22巻 第1号 (1970年6月)

6055 同志社大学人文科学研究所篇『林業村落の史的研究』 金丸平八 109~112

第22巻 第2号 (1970年10月)

6056 国松久弥著『小売商業の立地』 西岡久雄 170~173

第22巻 第4号 (1971年3月)

6057 伊藤久秋著『ウェーバー工業立地論入門』, 1970 青木外志夫 69~75

6058 宮坂正治著『工業立地論』, 1970 西岡久雄 76~79

第24巻 第2号 (1972年10月)

6059 E. C. Mossner, *Adam Smith: The Biographical Approach*, 1969 石井信之 98~103

6060 西岡久雄監訳『グリーンハット工業立地』の紹介 伊藤久秋 104~107

第24巻 第3号 (1972年12月)

6061 A. L. マクフィー著 水田洋・舟橋喜恵・天羽康夫訳『社会における個人』1972 石井信之 87~91

第25巻 第1号 (1973年6月)

6062 レスリーJ・キング著 奥野隆史・西岡久雄訳『地域の統計的分析』, 1973 鈴木栄一 114~117

第25巻 第2号 (1973年10月)

6063 江沢譲爾・高橋潤二郎・西岡久雄共著『経済立地論の新展開』1973 春日茂男 145~147

第25巻 第3号 (1973年12月)

6064 Edwin G. West, *Adam Smith. The Man and His Works*, New York, Arlington House. 1969 石井信之 106~113

第27巻 第1号 (1975年6月)

6065 西岡久雄著『立地と地域経済—経済立地政策論—』, 1973 青木外志夫 75~79

6066 ジェームス M. ブキャナン著 山之内光躬・日向寺純雄訳『公共財の理論』, 昭和49年 大浦一郎 80~83

第28巻 第1号 (1976年6月)

6067 奥野忠一ほか著『続多変量解析法』日科技連, 1976 鈴木栄一 121~124

第30巻 第1号 (1978年6月)

6068 大野弥曾次著『ケインズ経済学講義』, 1978年 大木金次郎 185~189

6069 C. R. ラオ著 奥野忠一ほか訳『統計的推測とその応用』, 1977年 鈴木栄一 190~194

第31巻 第1号 (1979年6月)

6070 Cesare Cosciani, *Scienza delle Finanze*, 1977 日向寺 純雄 69~73

第33巻 第1号 (1981年6月)

6071 マウロ・ファズィアーニ著『財政学原理』 日向寺 純雄 82~85

6072 堀内昭義著『日本の金融政策－金融メカニズムの実証分析－』 高橋 俊治 86~88

第33巻 第2号 (1981年10月)

6073 ハイウェル G. ジョーンズ著 松下勝弘訳『現代経済成長理論』, 1980 三 辺 誠 夫 136~142

6074 原豊著『産業組織論』 外 崎 忠 143~149

第33巻 第3号 (1981年12月)

6075 鱒沢晃三著『価値・貨幣および所得の理論』 (上・下), 1979 榎 本 弘 133~138

6076 David Marshall Smith, *Industrial Location: An Economic Geographical Analysis*, 1981 西 岡 久 雄 139~148

第34巻 第1号 (1982年6月)

6077 大蔵省財政史室編『昭和財政史 終戦から講和まで 2 独占禁止』 三和良一著, 1981年 原 豊 103~105

6078 館龍一郎『金融政策の理論』, 1982年 高橋 俊治 106~107

第34巻 第2号 (1982年10月)

6079 小椋正立著『サプライ・サイド経済学』, 1981年 平 澤 典 男 107~110

6080 M. G. ケンドール著, 奥野忠一・大橋靖雄共訳『多変量解析』, 1981年 鈴 木 栄 一 111~115

第34巻 第3号 (1982年12月)

6081 日中経済協会調査委員会編『中国における産業構造の
変革－耐久消費財工業の発展とその課題－』,
1982年 石 畑 良 太 郎 100~105

第34巻 第4号 (1983年3月)

6082 Raymond P. Oakey, *High Technology Industry and Industrial Location: The Instruments Industry Example*, 1981 西 岡 久 雄 134~139

第35巻 第2号 (1983年10月)

6083 木下宗七著『戦後日本の経済行動－計量モデルによる分析－』, 1982年 米 澤 義 衛 134~139

第35巻 第4号 (1984年3月)

- 6084 William K. Hutchinson, *History of Economic Analysis. A Guide to Information Sources*, 1976 石井 信之 163~168

第36巻 第2・3・4号 青山学院創立110周年記念論文集 (1985年2月)

- 6085 荻原勝著『定年制の歴史』 1984年 石畑 良太郎 529~536
6086 田島恵児著『ハミルトン体制研究序説—建国初期アメリカ合衆国の経済史—』, 1984年 三 和 良 一 537~544
6087 R. E. Lucas, Jr., *Studies in Business Cycle Theory*, 1981年 大住 栄治 545~550
6088 John Williamson, *A New SDR Allocation?*, 1984年 James E. Lande 551~554

第37巻 第1号 (1985年6月)

- 6089 吉川洋著『マクロ経済学研究』, 1984年 中 込 正 樹 222~223

第37巻 第3号 (1985年12月)

- 6090 J. R. マイヤー, C. V. オスター他著『規制緩和と新航空企業家』 西岡 久雄 159~165

第37巻 第4号 (1986年3月)

- 6091 田島恵児著『ハミルトン体制研究序説』 中村 勝巳 191~198
6092 古川顕『現代日本の金融分析—金融政策の理論と実証』, 1985年 高橋 俊治 199~203

第38巻 第1号 (1986年6月)

- 6093 中川清著『日本の都市下層』, 1985年 石畑 良太郎 126~132
堀 歌 子

第38巻 第3号 (1986年12月)

- 6094 Robert L. Heilbroner ed., *The Essential Adam Smith*, 1986 石井 信之 113~125

第38巻 第4号 (1987年3月)

- 6095 日向寺純雄『イタリア財政学の発展と構造』, 1987年 山之内 光躬 161~165

第39巻 第3号 (1987年12月)

- 6096 シルバーバーグ著, 佐藤隆三監訳, 大住栄治訳『現代経済学(上)(下)』, 1984年 平澤 典男 118~123

第40巻 第1号 (1988年6月)

- 6097 ラヴィ・バトラ著, 佐藤隆三訳, 『1990年の大恐怖』, 1987年 松 下 正 弘 96~99

第40巻 第2号 (1988年10月)

- 6098 吉原健二編著『新年金法・61年金改革・解説と資料』, 1987年 牛丸聡 126~131

第41巻 第1号 (1989年6月)

- 6099 西川喜作『輝やけ 我が命の日々よーガンを宣告された精神科医の1000日』新潮社, 1982年, をはじめとした一連の末期ガン患者の闘病手記等を読んで 牛丸聡 138~148

第41巻 第3号 (1989年12月)

- 6100 浅野史郎著『豊かな福祉社会への助走』, 1989年 牛丸聡 134~144

第41巻 第4号 (1990年3月)

- 6101 Blinder, Alen S., *Hard Heads, Soft Hearts*, 1987 熊谷彰矩 102~107

第42巻 第3号 (1990年12月)

- 6102 平松守彦『グローバルに考え ローカルに行動せよ』, 1990年 西岡久雄 165~167

第43巻 第2号 (1991年10月)

- 6103 上岡一嘉『異文化に学ぶ』 1990年 西岡久雄 101~103
6104 東京大学社会科学研究所編『現代日本社会1 課題と視角』, 1991年 杉浦勢之 104~113

第46巻 第1・2・3号 青山学院創立120周年記念論文集 (1994年12月)

- 6105 神頭広好『わが国3大都市圏における空間構造—理論と応用—』, 1993年 高橋重雄 201~205

第47巻 第3号 深澤實名誉教授記念特集号 (1995年12月)

- 6106 チャールズ・グラント著/伴野文夫訳『EU を創った男—ドロール時代十年の秘録—』, 1995年 中川辰洋 203~211

第48巻 第3号 (1996年12月)

- 6107 Philip Stephens, *Politics and the Pound: the Conservatives' Struggle with Sterling*, 1996 中川辰洋 89~95

第49巻 第2号 (1997年10月)

- 6108 原豊『現代塩産業論』 1997年 石井信之 75~77

第49巻 第3号 (1997年12月)

- 6109 Eric Aeschmann et Pascal Riche, *La Guerre de sept ans: histoire secrete du franc fort* 1989-1996 中川辰洋 115~125

第49巻 第4号 (1998年3月)

6110 二つの産業史 米澤 義衛 113~121

第50巻 第1号 (1998年6月)

6111 石川操著『西洋初期中世貴族の社会経済的基礎』
1998年 山田 欣吾 117~118

第51巻 第1・2・3号 経済学部設立50周年記念論文集 (1999年12月)

6112 堀場勇夫『地方分権の経済分析』1999年 神野 直彦 377~379

第51巻 第4号 石川操名誉教授記念特集号 (2000年3月)

6113 本間照光著『団体定期保険と企業社会』1997年 相澤 與一 249~255

第52巻 第2号 日向寺純雄名誉教授記念特集号 (2000年9月)

6114 Steven Pressman, *Fifty Major Economists*, 1999 石井 信之 231~237

第52巻 第3号 榎本弘名誉教授記念特集号 (2000年12月)

6115 経済学史学会編『経済思想史辞典』2000 石井 信之 179~186

第53巻 第3号 (2001年12月)

6116 Norbert Olszak, *Histoire des banques centrales*, 1998 中川 辰洋 117~140

第54巻 第1号 (2002年6月)

6117 橋本寿朗『近代日本経済史』『現代日本経済史』
『戦後日本経済の成長構造』 三和良一 125~159
上田 章
杉浦 勢之

第56巻 第2号 (2004年9月)

6118 Gianni Vaggi and Peter Groenewegen, *A Consise
History of Economic Thought:
From Mercantilism to Monetarism*, 2003 石井 信之 61~78

第57巻 第1号 (2005年6月)

6119 Jacques Delors (avec la collaboration de Jean-Louis
Arnaud), *Memoires* 中川 辰洋 99~112

第57巻 第2号 (2005年9月)

6120 Joachim Bitterlich, *France-Allemagne: Mission
impossible? Comment relancer la construction
europeenne* 中川 辰洋 93~106

第58巻 第2号 (2006年9月)

6121 Guy Verhofstadt, *Les Etats-Unis d'Europe* 中川 辰洋 75~90

第58巻 第4号 熊谷彰矩名誉教授記念特集号 (2007年3月)

- 6122 田野慶子著『ドイツ資本主義とエネルギー産業
—工業化過程における石炭業・電力業—』 今久保幸生 175~182
- 6123 Steven Pressman, *Fifty Major Economists* 石井信之 183~203

VII 学会報告・学会展望・学会消息

第8巻 第2号 (1956年9月)

- 7000 学会消息 97~106

第8巻 第3号 (1956年12月)

- 7001 学会消息 146~153

第8巻 第4号 (1957年3月)

- 7002 学会消息 121~122

第9巻 第1号 (1957年6月)

- 7003 学界消息 127~138

第9巻 第2号 (1957年9月)

- 7004 本学経済学会・日本西洋史学会・日本会計学会・日本
商業学会・国際経済学会・金融学会 155~164

第9巻 第3号 (1957年12月)

- 7005 金融学会・日本公法学会・日本行政学会 101~104

第9巻 第4号 (1958年3月)

- 7006 本学経済学会・日本私法学会・土地制度史学会・日本
経営学会・国際経済学会・学内研究会 213~220

第10巻 第3号 (1958年12月)

- 7007 日本公法学会・日本私法学会・日本商業学会・社会経
済史学会・日本経営学会・土地制度史学会・国際経
済学会 98~105

第10巻 第4号 (1959年3月)		
7008	本学経済学会	80~82
第11巻 第1号 (1959年6月)		
7009	日本地理学会・金融学会・西洋史学会・社会経済史学会・日本商業学会・日本会計学会	79~87
第11巻 第4号 (1960年3月)		
7010	日本商品学会・金融学会・本学経済学会	117~119
第12巻 第1号 (1960年6月)		
7011	国際経済学会・日本商業学会	169~172
第12巻 第2号 (1960年9月)		
7012	金融学会・日本経営学会	174~177
第12巻 第3号 (1960年12月)		
7013	保険学会・金融学会・日本経営学会・日本観光学会	225~232
第13巻 第1号 (1961年6月)		
7014	日本商業学会	231~232
第13巻 第3号 (1961年12月)		
7015	理論経済学会・金融学会・国際経済学会・経営学会・アジア政経学会・史学会・財政学会・本学経済学会	243~256
第13巻 第4号 (1962年3月)		
7016	日本観光学会・保険学会・本学会	373~378
第14巻 第2号 (1962年9月)		
7017	日本商業学会・日本観光学会	213~215
第14巻 第3号 (1962年12月)		
7018	金融学会報告	195~196
第15巻 第1号 (1963年4月)		
7019	理論経済学会・計量経済学会	93~95
第15巻 第3号 (1963年11月)		
7020	日本経済政策学会 (第23回大会)	159~161
第16巻 第3号 (1965年2月)		
7021	Regional Science および Quantitative Geography の両セミナーについて	西岡久雄 135~153

第17巻 第4号 (1966年3月)

7022 日本経営学会 (第29回大会)

261~262

第18巻 第1号 (1966年6月)

7023 わが国の経済立地論の回顧 (中)

西岡久雄 66~78

第18巻 第2号 (1966年10月)

7024 わが国の経済立地論の回顧 (下)

西岡久雄 113~123

第19巻 第2号 (1967年10月)

7025 社会経済史学会

102~105

7026 日本経済政策学会

106~111

第19巻 第3号 (1967年12月)

7027 金融学会・同関東部会総会

156~158

7028 理論経済学会・計量経済学会

159~161

第20巻 第2号 (1968年10月)

7029 金融学会春季大会

105~106

第23巻 第1号 (1971年6月)

7030 ヨーロッパ歴史学界におけるフランク王国史研究の一
断面

石川操 145~151

第47巻 第4号 (1996年3月)

7031 国際財政学会

日向寺純雄 161~166